



LIXIL

レストステージ

取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>


注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 本製品は一般住宅の一階相当部施工用です。それ以外の場所への取付けはしないでください。


ポイント

- 部材変形防止のため、製品保管状況を確認してください。
 - ・当製品は、木粉入り高密度樹脂製のため、熱変形することがあります。取扱いには十分注意してください。
 - ・平らな場所に立てかけないように保管してください。
 - ・暖房機や焚き火近くの高温になる場所には保管しないでください。
 - ・製品上に重量物を長時間重ね置きしないでください。
 - ・施工場所に寸法的に正しく納まるか事前に十分確認をしてください。
- 人工木は表面に研磨加工処理を施してありますので、床板の施工方向によっては色調に濃淡が出ます。
- デッキ上にフェンスを設置する場合は、必要に応じて、あらかじめ床板補強材を取付けてください。
- レストステージでは下記の製品には対応しておりません。
 - ・ガーデンルームの設置
 - ・ステップの接続
 - ・モダンデッキフェンス、デッキフェンス以外のフェンス設置

<施工の前に つづき>

ポイント

- 正しく施工，組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 施工プランと必要部材が揃っているか確認してください。
- 市販の研磨紙を利用する際は、40番の研磨紙を用いてください。
- 給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。

<施工上のご注意>

注意

- 束柱の移動範囲は弊社指定範囲にしてください。
- 製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
 - ・φ4ネジ：1.5N・m
 - ・φ5ネジ：3.0N・m
- 基礎石は指定寸法以上のものを使用し、確実に設置してください。強度低下の原因になります。

ポイント

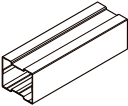
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 施工中についた表面すりキズは、引き渡し前に研磨紙で補修してください。表面研磨する場合は、研磨してある方向に沿って行なってください。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 施工中についた表面の汚れやシミは、引き渡し前に水洗いをしてください。中性洗剤を薄めたものを使用した場合は、よく水洗いをしてください。
- コンクリートまたはモルタルには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固防止剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。

INDEX

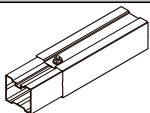
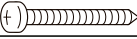
1	梱包明細表	4
2	施工時の重要確認事項	7
3	基本寸法と各部名称	8
1.	基本寸法	8
2.	納まり図	9
3.	床板縦張り基本寸法	10
4.	床板横張り基本寸法	14
4	束柱・大引の施工	18
1.	基礎の施工	18
2.	束柱・大引の取付け	19
3.	大引への穴加工	22
4.	大引の取付け	24
5.	筋交いの取付け	26
5	床板の取付け	28
1.	側面床板固定金具（床板の取付け始め側）の取付け	28
2.	床板取付上の注意	29
3.	床板キャップの取付け	29
4.	床板の取付け	30
5.	側面床板固定金具の取付け	33
6.	大引端部キャップの取付け	34
7.	床板のズレ止めネジの取付け	34
6	幕板Bの施工 オプション	35
1.	側面床板固定金具（床板の取付け始め側）の取付け	35
2.	側面幕板取付材の取付け	35
3.	幕板取付金具の取付け	36
4.	幕板Bの加工	38
5.	幕板の穴あけ	38
6.	幕板の取付け	39
7	隅切り施工	41
1.	隅切り施工	41
2.	補助根太の取付け	41
3.	正面幕板B取付材の取付け	43
4.	フリーコーナーキャップの取付け	43
8	オプション	44
1.	正面幕B板取付材（大引固定用）の取付 オプション	44
2.	床板補強材の取付け オプション	46
3.	躯体付けアングルの取付け オプション	47
4.	躯体側隙間塞ぎ材の取付け オプション	48
5.	補修	48

1 梱包明細表

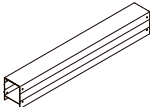
【1】束柱セット（調整なし）

名 称	略 図	員 数			
		1本入り	4本入り	6本入り	9本入り
束柱（調整なし）		1	4	6	9
束柱固定金具		1	4	6	9
【1-1】φ5×35セルフタップアンカー		1	4	6	9
【1-2】φ4×13ナベドリルネジ		5	20	30	45

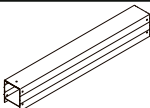
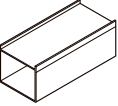
【2】束柱セット（調整あり）

名 称	略 図	員 数		
		1本入り	4本入り	6本入り
束柱（調整あり）		1	4	6
束柱固定金具		1	4	6
【2-1】φ5×35セルフタップアンカー		1	4	6
【2-2】φ4×19ナベドリルネジ		9	36	54

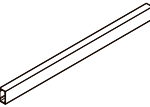
【3】大引セット

名 称	略 図	員 数	
		1本入り	2本入り
大引		1	2

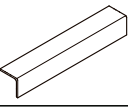
【4】大引セット（連棟用）

名 称	略 図	員 数	
		1本入り	2本入り
大引（連棟用）		1	2
大引スリーブ		1	2
【4-1】φ4×19ナベドリルネジ		9	17

【5】筋交いセット

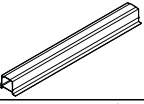
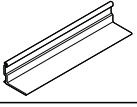
名 称	略 図	員 数	
		2本入り	3本入り
筋交い		2	3
筋交いキャップ		4	6
【5-1】φ4×25ナベドリルネジ		4	6

【6】床板補強材

名 称	略 図	員 数
床板補強材		1
大引アングル		4
【6-1】φ4×13ナベドリルネジ		20
【6-2】φ4×70 トラスタッピンネジ1種		24

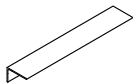
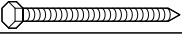
【7】補助根太セット

オプション

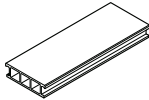
名 称	略 図	員 数
補助根太		1
補助根太取付部品		4
【7-1】φ4×13ナベドリルネジ		16

【8】躯体付けアングルセット

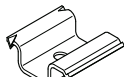
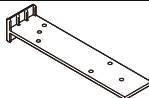
オプション

名 称	略 図	員 数
躯体付けアングル		1
【8-1】φ6×70六角タッピンネジ1種		6

【9】床板セット

名 称	略 図	員 数		
		1本入り	2本入り	3本入り
床板		1	2	3

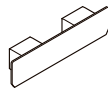
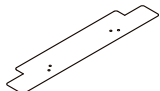
【10】床板取付部品セット

名 称	略 図	員 数		
		基本	追加40	追加20
横止め金具		60	40	20
穴開け治具		1	—	—
補修用研磨紙		2	—	—
【10-1】φ4×13ナベドリルネジ		66	44	22
【10-2】φ4×12ナベタッピンネジ1種		6	—	—
取付説明書〈E356〉	—	1	—	—
取扱説明書〈UE090〉	—	1	—	—

【11】大引端部部品セット

名 称	略 図	員 数
大引端部キャップ		2
側面床板固定金具		2
【11-1】φ4×13サラドリルネジ		4
【11-2】φ4×20 ナベタッピンネジ2種 G=5		8

【12】床板キャップセット

名 称	略 図	員 数	
		2個入	10個入
床板キャップ (W195用)		2	10
床板キャップ穴開け治具		1	1
【12-1】φ4×16 サラタッピンネジ1種		4	22

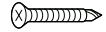
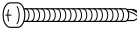
【13】側面幕板B取付材セット

オプション

名 称	略 図	員 数		
		1個入	3個入	5個入
側面幕板B取付材		1	3	5
幕板B取付補助部材		2	4	6
【13-1】φ4×19サラドリルネジ		6	12	18
【13-2】φ4×20ナベタッピン2種G=5		4	12	20
【13-3】φ4×30トラスタッピンネジ1種		4	8	12

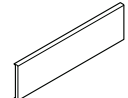
【14】正面幕板B取付材セット (床板固定用)

オプション

名 称	略 図	員 数		
		1個入	5個入	8個入
正面幕板B取付材 (床板固定用)		1	5	8
【14-1】φ4×25サラドリルネジ		4	12	18
【14-2】φ4×30ナベドリルネジ		2	10	16

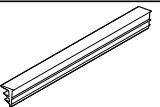
【15】幕板Bセット

オプション

名 称	略 図	員 数	
		1本入り	2本入り
幕板B		1	2

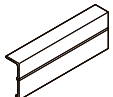
【16】躯体側隙間塞ぎ材

オプション

名 称	略 図	員 数
躯体側隙間塞ぎ材		1

【17】正面幕板B取付材セット（大引固定用）

オプション

名 称	略 図	員 数		
		1個入	5個入	8個入
正面幕板B取付材（大引固定用）		1	5	8
大引取付材		1	5	8
【17-1】φ4×25サラドリルネジ		4	12	18
【17-2】φ4×13ナベドリルネジ		4	20	32

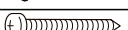
【18】幕板Bコーナーキャップセット

オプション

名 称	略 図	員 数		
		90°	入隅	フリー
幕板B90° コーナーキャップ		1	—	—
幕板B入隅コーナーキャップ		—	1	—
幕板BフリーコーナーキャップA		—	—	1
幕板BフリーコーナーキャップB		—	—	1
【18-1】φ4×14サラ タッピンネジ1種		2	2	4

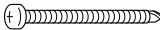
【19】幕板ジョイントカバーセット

オプション

名 称	略 図	員 数
幕板B連結キャップ		1
正面幕板B取付材		1
【19-1】φ4×14サラタッピンネジ1種		2
【19-2】φ4×25サラドリルネジ		2
【19-3】φ4×30ナベドリルネジ		2

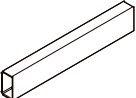
【20】コーナー幕板B取付材セット

オプション

名 称	略 図	員 数
正面幕板B取付材 （床板固定用）		2
【20-1】φ4×25サラドリルネジ		4
【20-2】φ4×30ナベドリルネジ		4

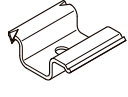
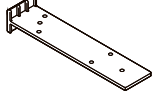
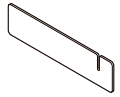
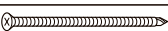
【21】床板縦切り用インナー材セット

オプション

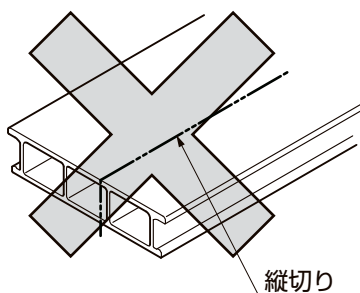
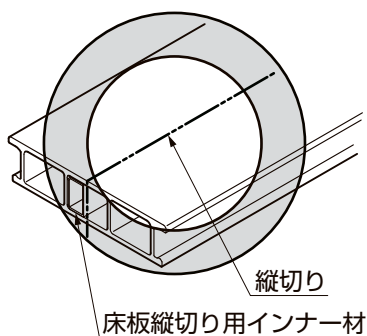
名 称	略 図	員 数
床板縦切り用インナー材		1
【21-1】φ4×16サラドリルネジ		4

【22】床板取付部品セット（補修用）

オプション

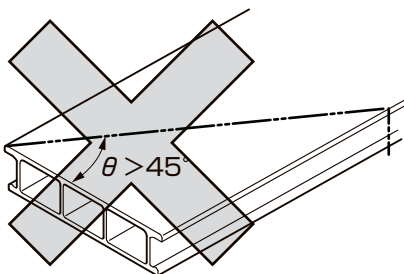
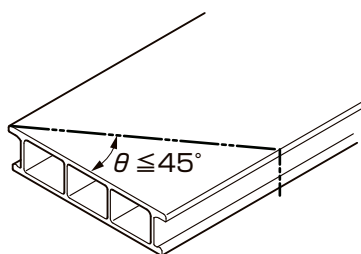
名 称	略 図	員 数	
		横止め補修	上止め補修
横止め金具		10	5
穴開け治具		1	1
横止め金具移動治具		1	1
交換用ビット		1	1
補修用研磨紙		1	1
【22-1】φ4×65サラドリルネジ		—	20
【22-2】φ4×13ナベドリルネジ		12	7
取付説明書〈E343〉	—	1	1

2 施工時の重要確認事項



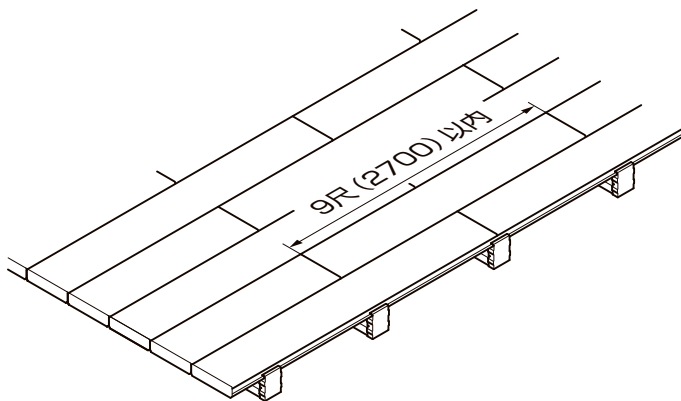
ポイント

- 床板の間口調整は、床板枚数単位で行なってください。
- 納まり上、床板の縦切りが部分的に必要な場合は、「床板縦切り用インナー材」を使用してください。(P.33参照)



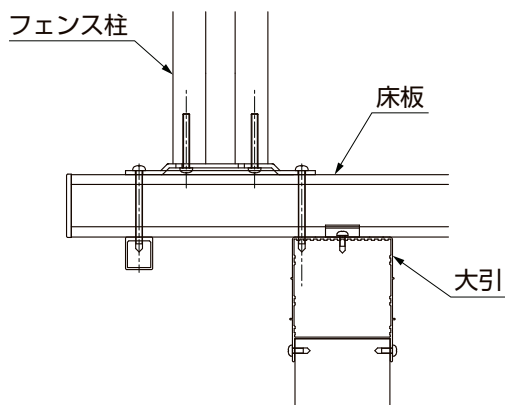
ポイント

- 床板を斜め切りするときは、45° 以内にしてください。切り込み過ぎは、材料の変形・破損の原因になります。



ポイント

- 床板を長さ方向に連結する場合は、9尺(L=2700)以内の床板を使用してください。それより長い床板を連結すると、反り・変形などの原因になります。

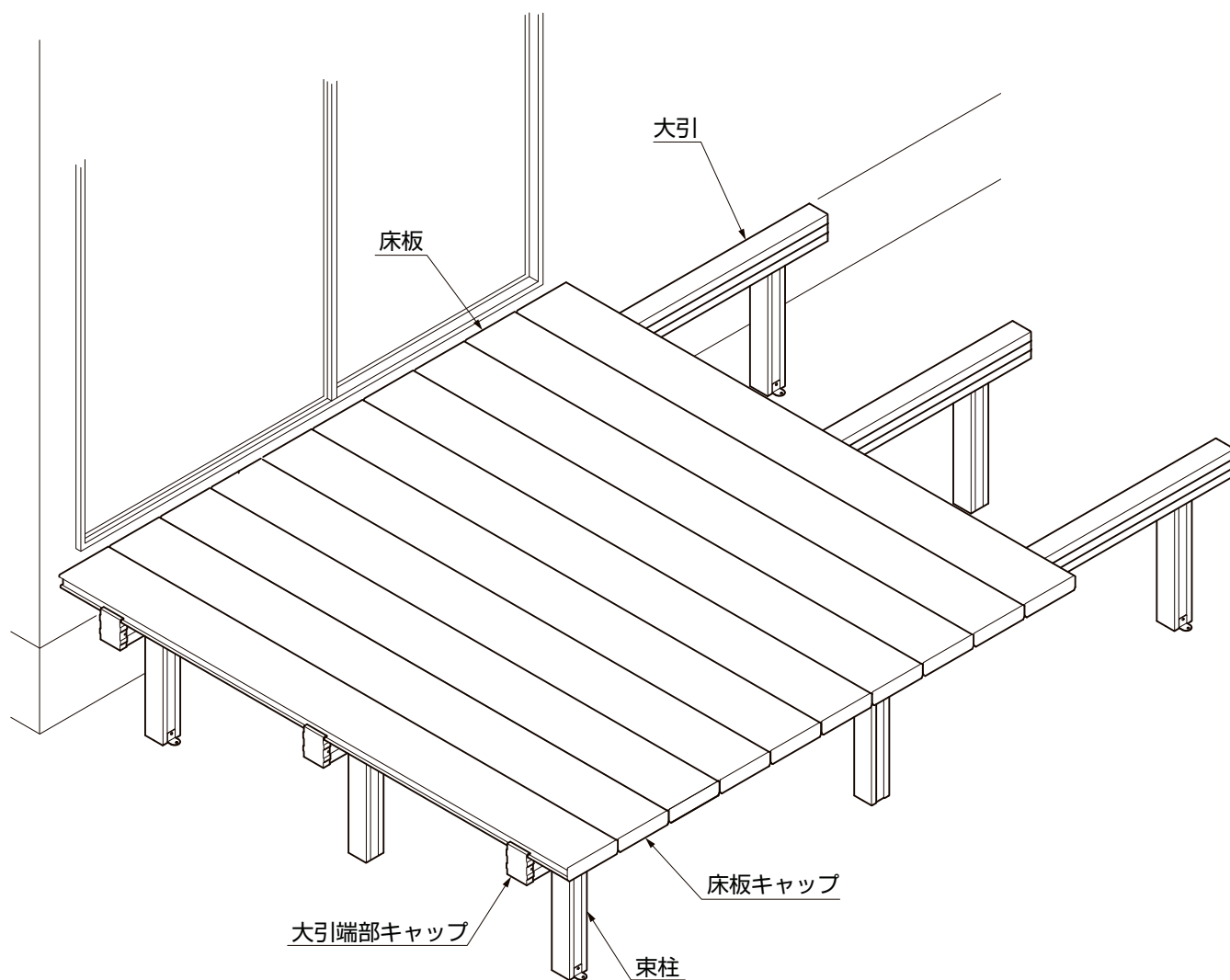


ポイント

- デッキにフェンス柱を取付ける場合は、各フェンスの取付説明書を必ず確認してください。

3 基本寸法と各部名称

1. 各部の名称

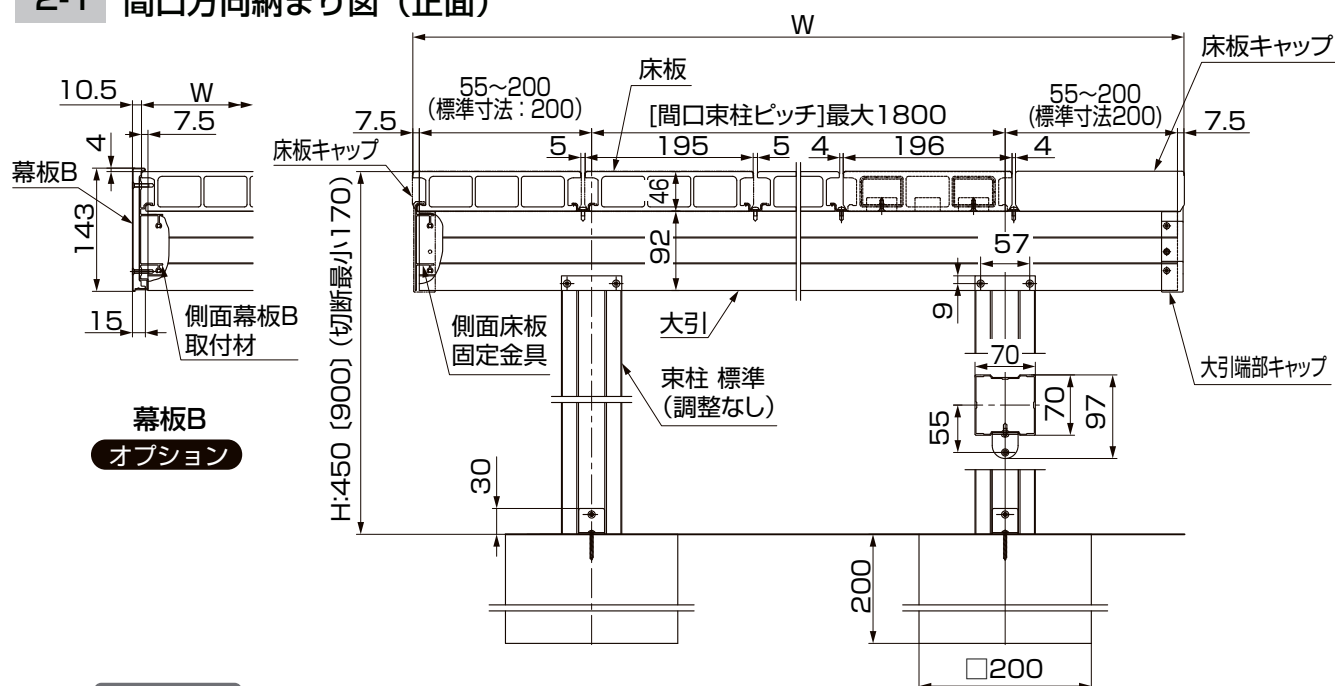


2. 納まり図

※図は縦張りの場合を示します。

※〔 〕寸法はロング束柱の場合

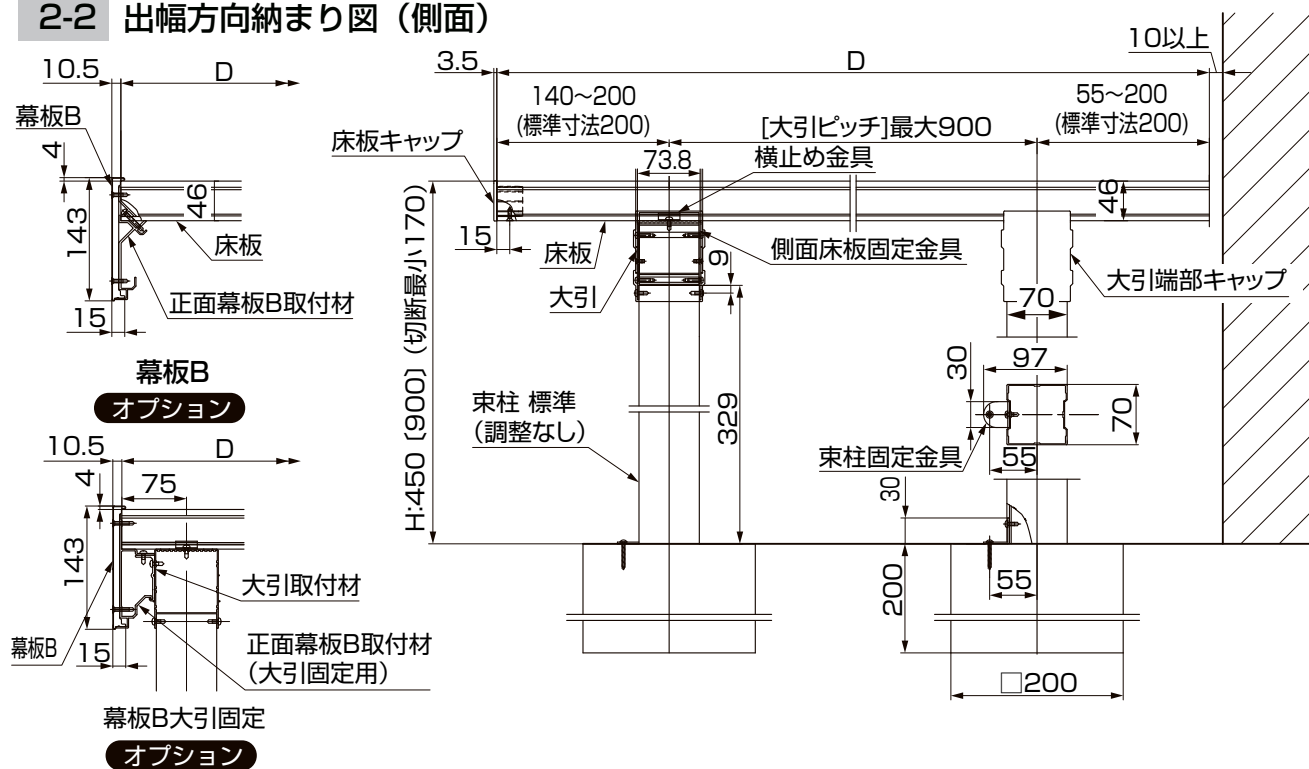
2-1 間口方向納まり図（正面）



ポイント

- デッキの間口最大寸法は、 $W+1\text{mm}$ (21mm) です。() は、幕板B寸法です。
- デッキ最低H寸法は、束柱A: 170mm、束柱B: 250mmです。

2-2 出幅方向納まり図（側面）



ポイント

- デッキの出幅最大寸法は、 $D+3.5\text{mm}$ (10.5mm) です。() は、幕板B寸法です。
- デッキ最低H寸法は、束柱A: 170mm、束柱B: 250mmです。

3. 床板縦張り基本寸法

3-1 基本寸法

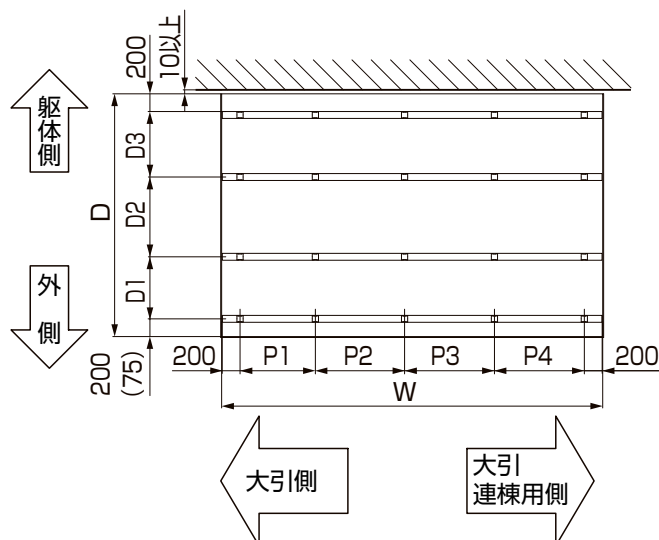


表3-1 間口方向寸法

	床板外々 W	床板キャップ デッキ外々 W+1	幕板B デッキ外々 W+21	ピッチ寸法 (大引側) ⇔ (大引連棟用側)						使用大引
				P1	P2	P3	P4	P5	P6	
1.5間	2595	2596	2616	1090	1090	—	—	—	—	1.5間
2.0間	3595	3596	3616	1590	1590	—	—	—	—	2.0間
2.5間	4395	4396	4416	1330	1330	1320	—	—	—	2.5間
3.0間	5395	5396	5416	1090	1290	1300	1300	—	—	1.5間+1.5間 (連棟用)
3.5間	6195	6196	6216	1090	1290	1700	1700	—	—	1.5間+2.0間 (連棟用)
4.0間	7195	7196	7216	1590	1790	1700	1700	—	—	2.0間+2.0間 (連棟用)
4.5間	7995	7996	8016	1330	1330	1520	1700	1700	—	2.5間+2.0間 (連棟用)
5.0間	8795	8796	8816	1330	1330	1520	1400	1400	1400	2.5間+2.5間 (連棟用)

大引連結部分

表3-2 出幅方向寸法

	床板出幅 D	床板キャップ デッキ外々 D+3.5	幕板B デッキ外々 D+10.5	ピッチ寸法 (外側) ⇔ (躯体側)					使用床板
				D1	D2	D3	D4	D5	
3R	900	903.5	910.5	500	—	—	—	—	L=900
4R	1200	1203.5	1210.5	800	—	—	—	—	L=1200
5R	1500	1503.5	1510.5	550	550	—	—	—	L=1500
6R	1800	1803.5	1810.5	700	700	—	—	—	L=1800
7R	2100	2103.5	2110.5	850	850	—	—	—	L=2100
8R	2400	2403.5	2410.5	700	600	700	—	—	L=2400
9R	2700	2703.5	2710.5	700	900	700	—	—	L=2700
10R	2900	2903.5	2910.5	700	900	900	—	—	L=1800、1200 (切断あり)
11R	3600	3603.5	3610.5	700	900	900	700	—	L=1800
12R	4500	4503.5	4510.5	700	900	900	900	700	L=1800、2700

ポイント

- 束柱の芯々寸法は、1800mm以内にしてください。
- 大引の芯々寸法は900mm以内にしてください。
- 床板の張出し寸法は、大引の芯から200mm以内にしてください。
- 床板と躯体等は10mm以上すき間をあけてください。
- 間口3.0間以上で大引の連結が必要になります。
- 大引の連結部は、必ず束柱を取付けてください。
- 床板を長さ方向に連結する場合は、2700mm以内の床板を使用してください。
- () 寸法は、幕板を大引固定する場合の寸法です。

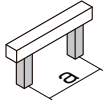
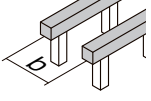
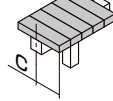
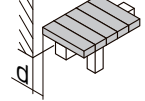
3-2 1.5間

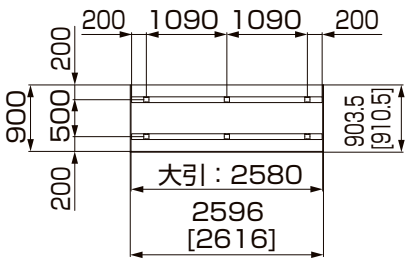
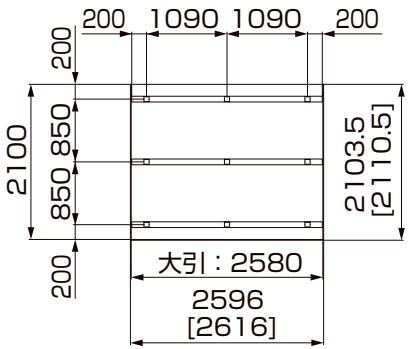
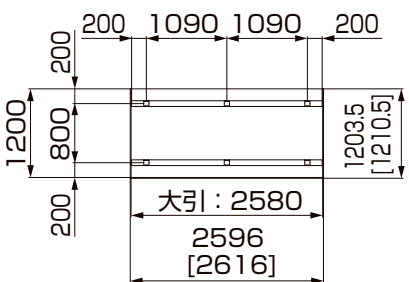
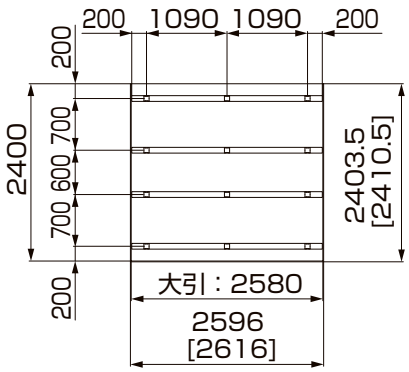
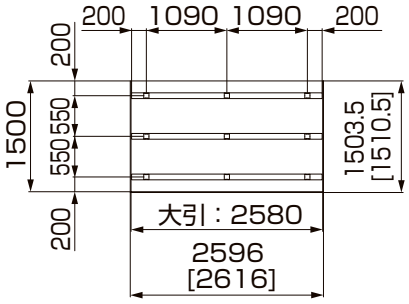
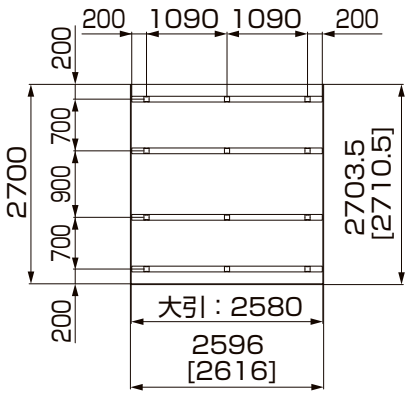
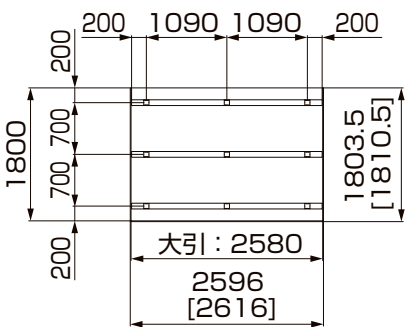
※ [] は幕板B使用時の寸法です。

※代表サイズを記載しています。その他のサイズについては「3-1 基本寸法」を参照してください。

ポイント

●右表の寸法を必ず守ってください。

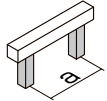
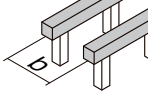
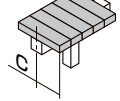
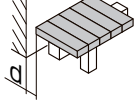
間口方向 束柱芯々寸法	出幅方向 大引芯々寸法	床板端部 張出し寸法	床板と躯体の すき間
			
1800mm以内	900mm以内	200mm以内	10mm以上

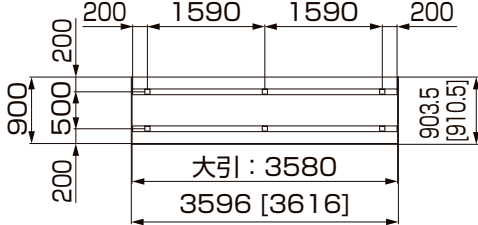
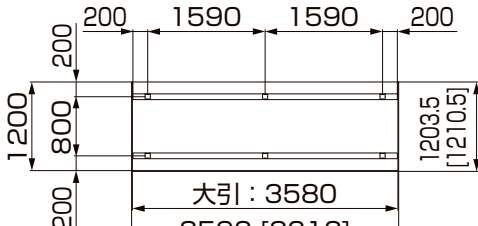
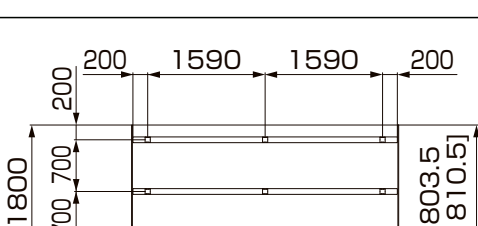
間口 出幅	1.5間	間口 出幅	1.5間
3尺		7尺	
4尺		8尺	
5尺		9尺	
6尺			

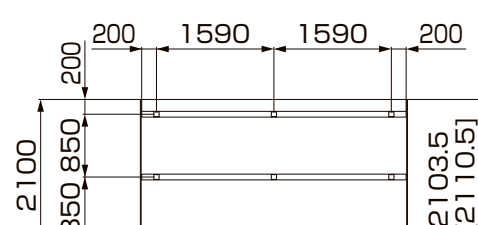
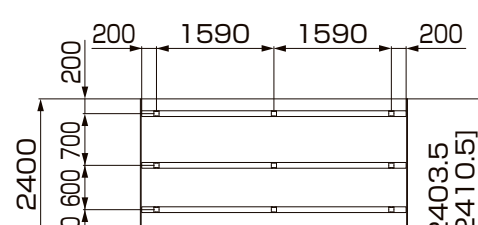
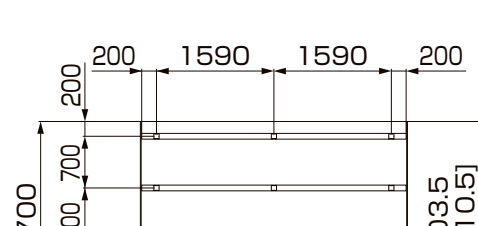
3-3 2.0間 ※ [] は幕板B使用時の寸法です。
※代表サイズを記載しています。その他のサイズについては「3-1 基本寸法」を参照してください。

ポイント

●右表の寸法を必ず守ってください。

間口方向 束柱芯々寸法	出幅方向 大引芯々寸法	床板端部 張出し寸法	床板と躯体の すき間
			
1800mm以内	900mm以内	200mm以内	10mm以上

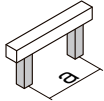
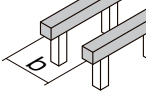
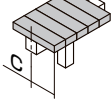
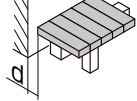
間口 出幅	2.0間
3尺	 大引 : 3580 3596 [3616]
4尺	 大引 : 3580 3596 [3616]
5尺	 大引 : 3580 3596 [3616]
6尺	 大引 : 3580 3596 [3616]

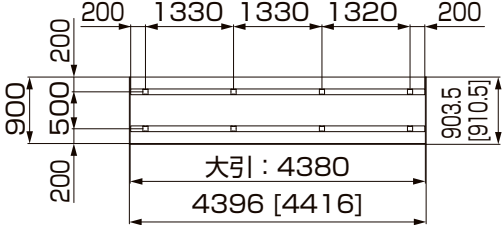
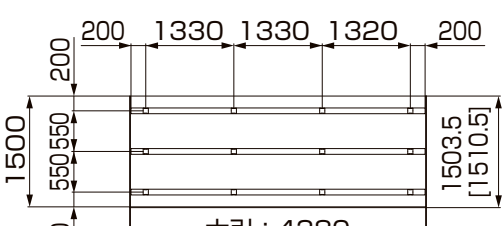
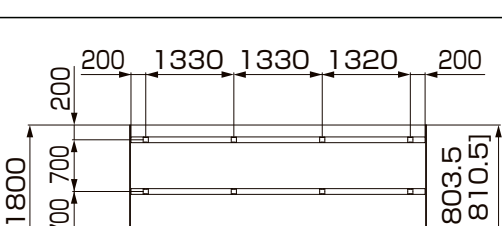
間口 出幅	2.0間
7尺	 大引 : 3580 3596 [3616]
8尺	 大引 : 3580 3596 [3616]
9尺	 大引 : 3580 3596 [3616]

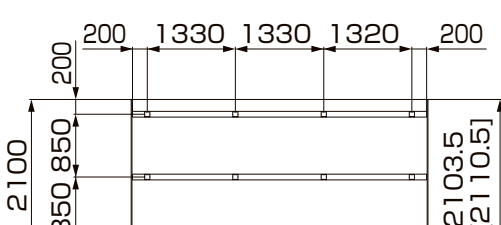
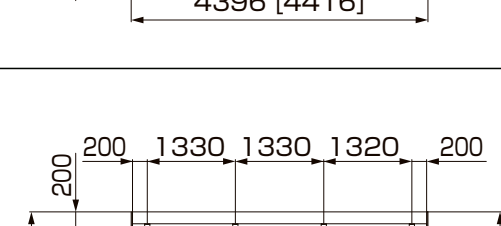
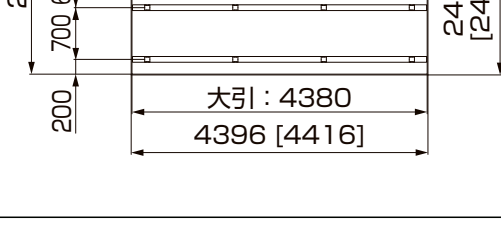
3-4 2.5間 ※ [] は幕板B使用時の寸法です。
※代表サイズを記載しています。その他のサイズについては「3-1 基本寸法」を参照してください。

ポイント

●右表の寸法を必ず守ってください。

間口方向 束柱芯々寸法	出幅方向 大引芯々寸法	床板端部 張出し寸法	床板と躯体の すき間
			
1800mm以内	900mm以内	200mm以内	10mm以上

間口 出幅	2.5間
3尺	 大引 : 4380 4396 [4416]
4尺	 大引 : 4380 4396 [4416]
5尺	 大引 : 4380 4396 [4416]
6尺	 大引 : 4380 4396 [4416]

間口 出幅	2.5間
7尺	 大引 : 4380 4396 [4416]
8尺	 大引 : 4380 4396 [4416]
9尺	 大引 : 4380 4396 [4416]

4. 床板横張り基本寸法

4-1 基本寸法

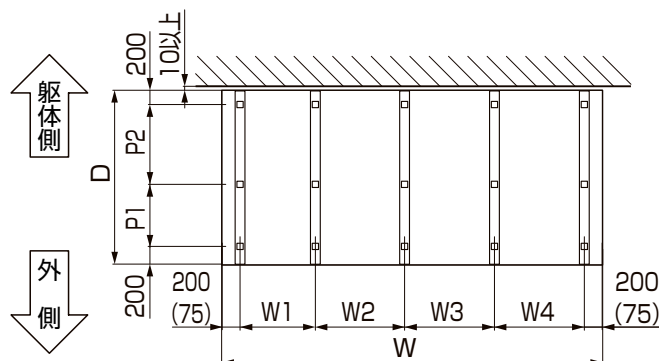


表3-1 間口方向寸法

	床板外々 W	床板キャップ デッキ外々 W+7	幕板B デッキ外々 W+21	ピッチ寸法 (大引側) ⇄ (大引連棟用側)										使用床板
				W1	W2	W3	W4	W5	W6	W7	W8	W9	W10	
1.5間	2700	2707	2721	700	900	700	-	-	-	-	-	-	-	L=2700
2.0間	3600	3607	3621	700	900	900	700	-	-	-	-	-	-	L=1800 (切断あり)
2.5間	4500	4507	4521	700	900	900	900	700	-	-	-	-	-	L=1800、2700
3.0間	5400	5407	5421	700	900	900	900	900	700	-	-	-	-	L=1800、2700
3.5間	6300	6307	6321	700	900	900	900	900	900	700	-	-	-	L=1800、2700
4.0間	7200	7207	7221	700	900	900	900	900	900	900	700	-	-	L=1800、2700
4.5間	8100	8107	8121	700	900	900	900	900	900	900	900	700	-	L=1800、2700
5.0間	9000	9007	9021	700	900	900	900	900	900	900	900	900	700	L=1800、2700

表3-2 出幅方向寸法

	床板出幅 D	床板キャップ デッキ外々 D+1	幕板B デッキ外々 D+10.5	ピッチ寸法 (外側)⇄(躯体側)		間口毎の使用大引							
				P1	P2	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間	3.5間	4.0間	4.5間	5.0間
3尺	995	996	1005.5	580	-	1.5間×2本	1.5間×1本 +2.0間×1本	2.0間×2本	1.5間×2本 +2.0間×1本	1.5間×1本 +2.0間×2本	2.0間×3本	1.5間×2本 +2.0間×2本	1.5間×1本 +2.0間×3本
4尺	1195	1196	1205.5	780	-	1.5間×2本	1.5間×1本 +2.0間×1本	2.0間×2本	1.5間×2本 +2.0間×1本	1.5間×1本 +2.0間×2本	2.0間×3本	1.5間×2本 +2.0間×2本	1.5間×1本 +2.0間×3本
5尺	1595	1596	1605.5	1180	-	2.0間×2本	1.5間×1本 +2.0間×2本	2.0間×3本	1.5間×1本 +2.0間×2本	2.0間×4本	1.5間×1本 +2.0間×2本	2.0間×5本	1.5間×1本 +2.0間×2本
6尺	1795	1796	1805.5	1380	-	2.0間×2本	1.5間×1本 +2.0間×2本	2.0間×3本	1.5間×1本 +2.0間×3本	2.0間×4本	1.5間×1本 +2.0間×4本	2.0間×5本	1.5間×1本 +2.0間×5本
7尺	1995	1996	2005.5	1580	-	2.5間×2本	1.5間×1本 +2.5間×2本	2.5間×3本	1.5間×1本 +2.5間×3本	2.5間×4本	1.5間×1本 +2.5間×4本	2.5間×5本	1.5間×1本 +2.5間×5本
8尺	2395	2396	2405.5	990	990	1.5間×4本	1.5間×5本	1.5間×6本	1.5間×7本	1.5間×8本	1.5間×9本	1.5間×10本	1.5間×11本
9尺	2795	2796	2805.5	1190	1190	2.0間×4本	2.0間×5本	2.0間×6本	2.0間×7本	2.0間×8本	2.0間×9本	2.0間×10本	2.0間×11本
10尺	2995	2996	3005.5	1290	1290	2.0間×4本	2.0間×5本	2.0間×6本	2.0間×7本	2.0間×8本	2.0間×9本	2.0間×10本	2.0間×11本

ポイント

- 束柱の芯々寸法は、1800mm以内にしてください。
- 大引の芯々寸法は900mm以内にしてください。
- 床板の張出し寸法は、大引の芯から200mm以内にしてください。
- 床板と躯体等は10mm以上すき間をあけてください。
- 出幅15尺以上で大引の連結が必要になります。
- 大引の連結部は、必ず束柱を取付けてください。
- 床板を長さ方向に連結する場合は、2700mm以内の床板を使用してください。
- () 寸法は、幕板を大引固定する場合の寸法です。

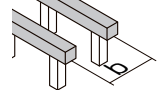
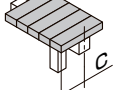
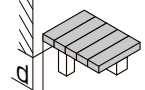
4-2 6尺

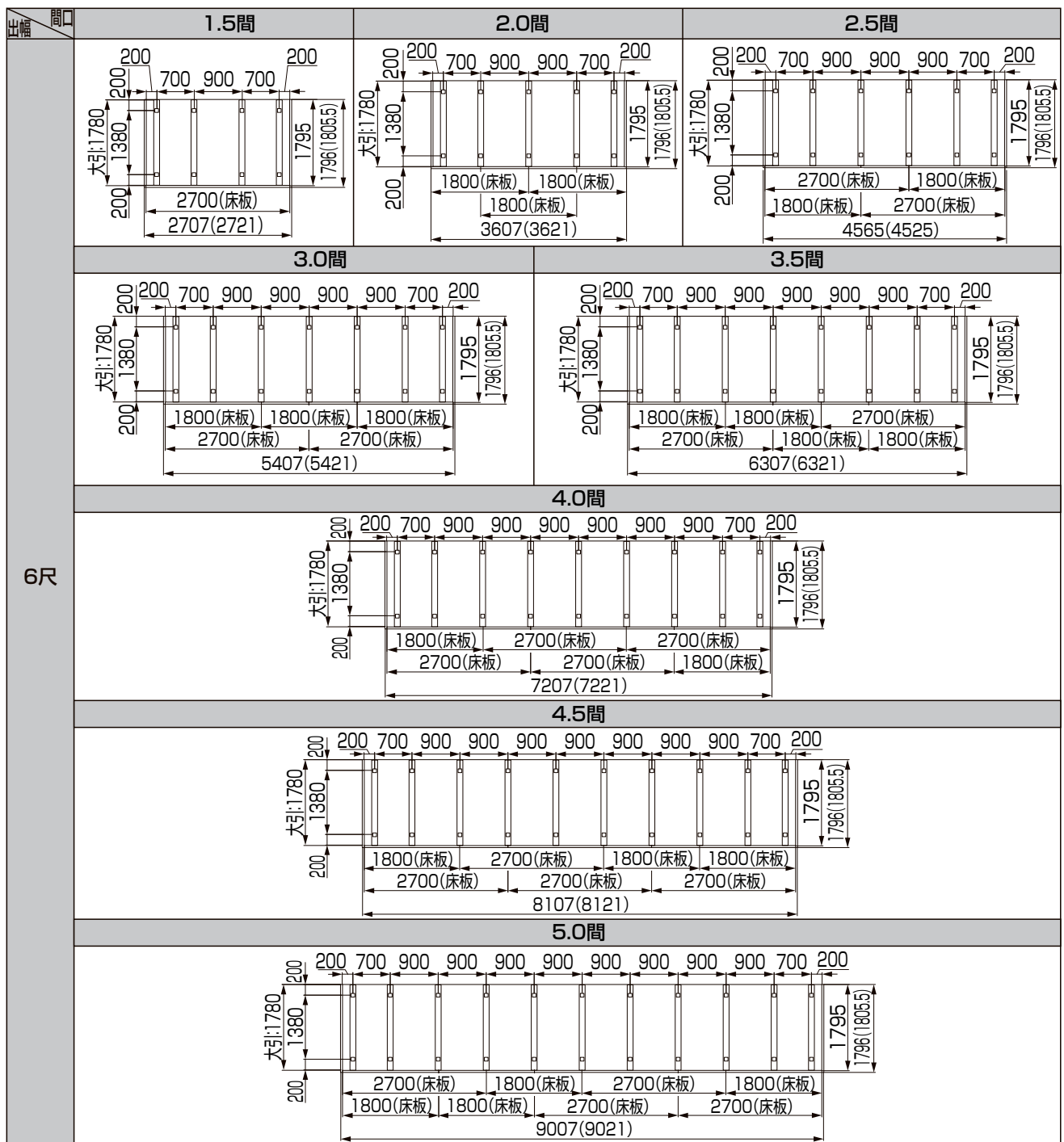
※ () は幕板B使用時の寸法です。

※図は、幕板を床板固定する場合の寸法です。幕板大引固定は「4-1 基本寸法」を参照してください。

ポイント

- 右表の寸法を必ず守ってください。

出幅方向 束柱芯々寸法	間口方向 大引芯々寸法	床板端部 張出し寸法	床板と躯体の すき間
			
1800mm以内	900mm以内	200mm以内	10mm以上



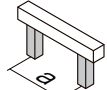
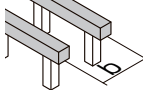
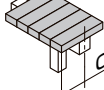
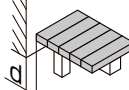
4-3 7尺

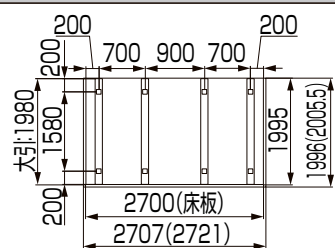
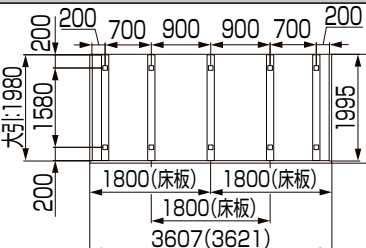
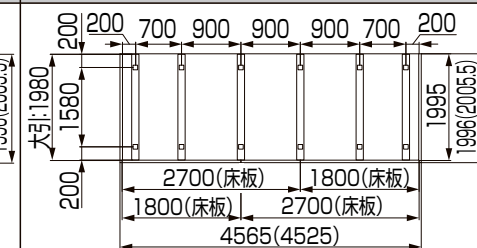
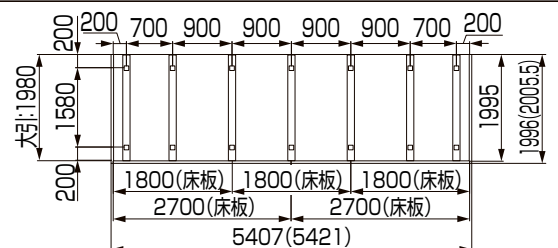
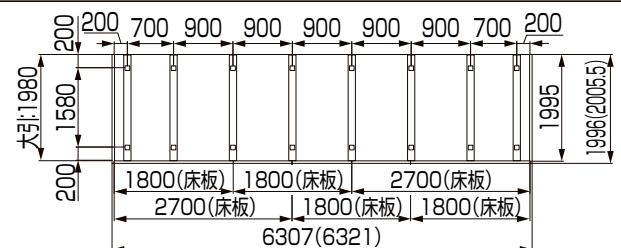
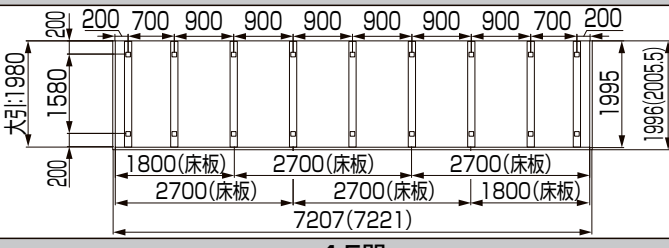
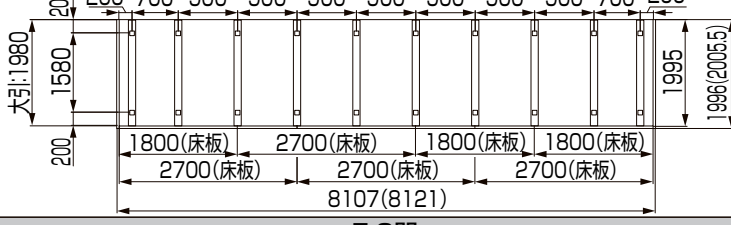
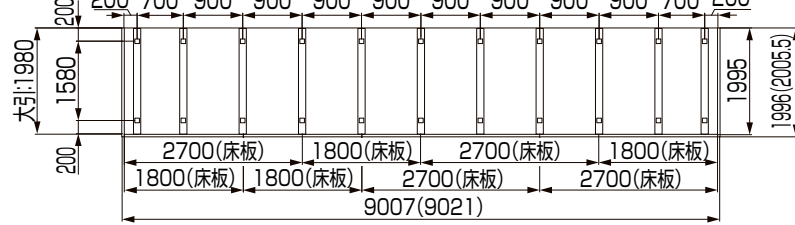
※ () は幕板B使用時の寸法です。

※ 図は、幕板を床板固定する場合の寸法です。幕板大引固定は「4-1 基本寸法」を参照してください。

ポイント

●右表の寸法を必ず守ってください。

出幅方向 束柱芯々寸法	間口方向 大引芯々寸法	床板端部 張出し寸法	床板と躯体の すき間
			
1800mm以内	900mm以内	200mm以内	10mm以上

間口 出幅	1.5間		2.0間		2.5間	
						
7尺	3.0間			3.5間		
						
7尺	4.0間					
						
7尺	4.5間					
						
7尺	5.0間					
						

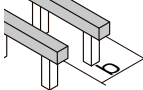
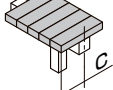
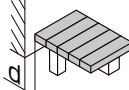
4-4 8尺

※ () は幕板B使用時の寸法です。

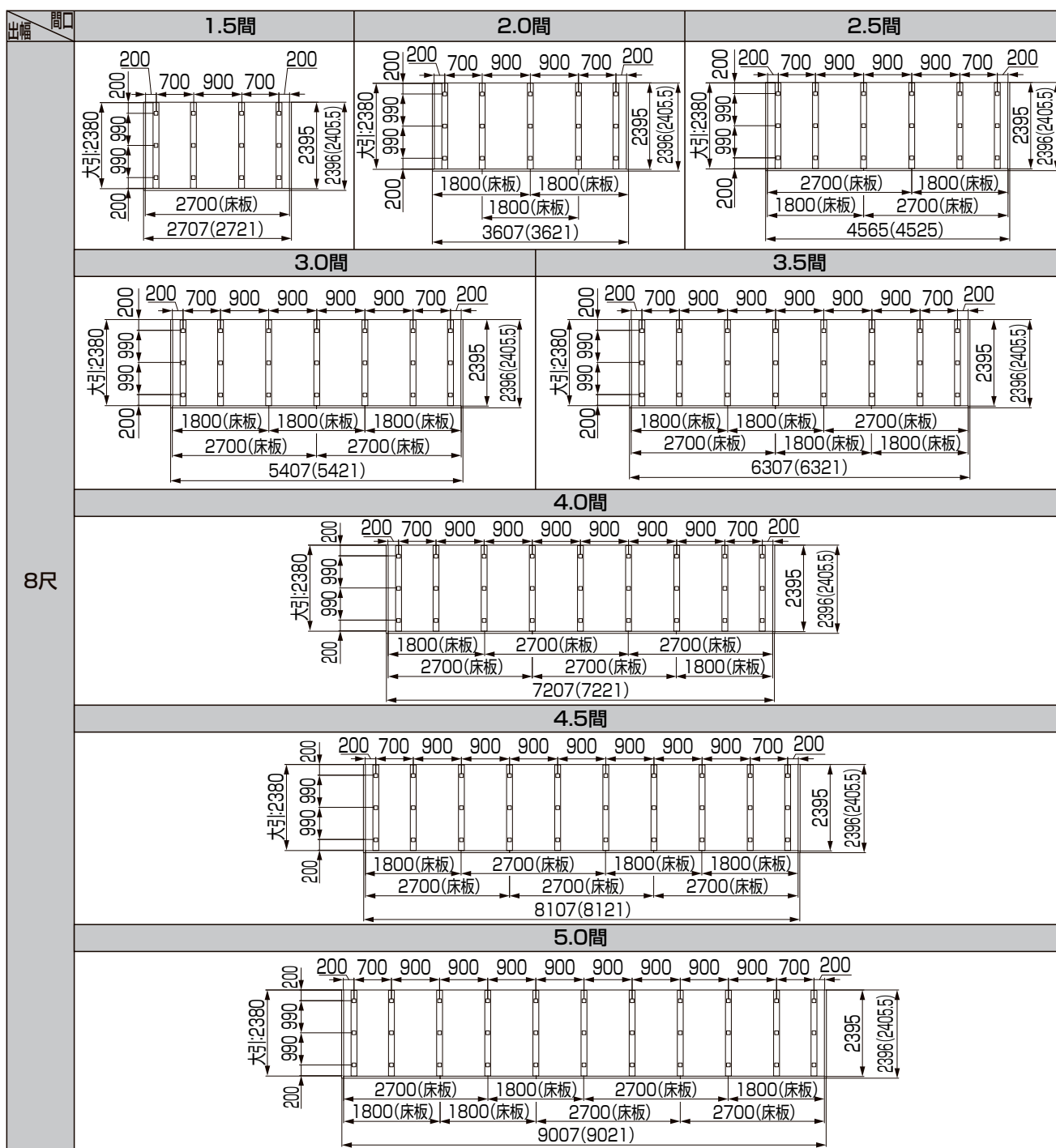
※図は、幕板を床板固定する場合の寸法です。幕板大引固定は「4-1 基本寸法」を参照してください。

ポイント

- 右表の寸法を必ず守ってください。

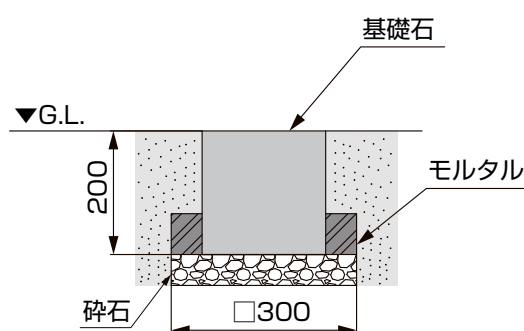
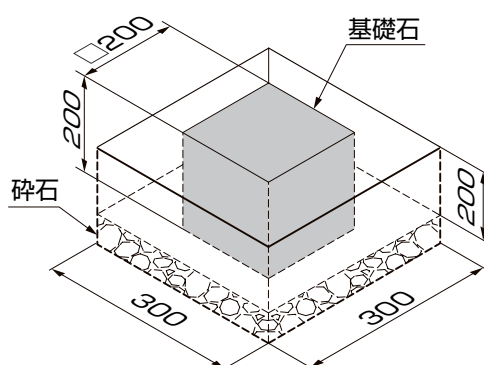
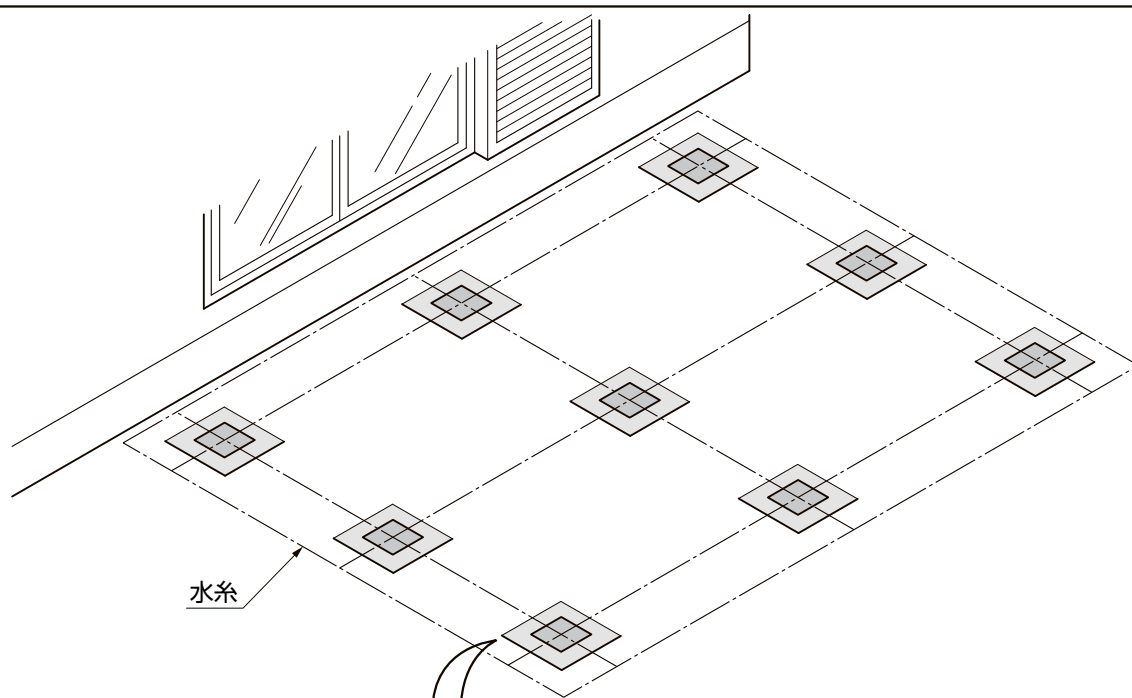
出幅方向 束柱芯々寸法	間口方向 大引芯々寸法	床板端部 張出し寸法	床板と躯体の すき間
			
1800mm以内	900mm以内	200mm以内	10mm以上

3 基本寸法と各部名称



4 束柱・大引の施工

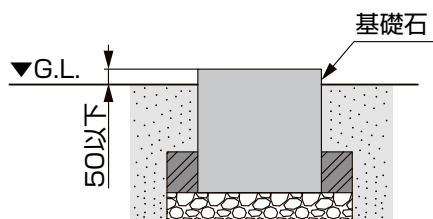
1. 基礎の施工



- ① 「3 基本寸法と各部名称 3.基本寸法」を参照して、前面・両側面の水系に寸法出しをし、基礎位置を決定してください。
- ② 砕石を敷き、十分に突き固めてください。
- ③ 基礎石を設置し、基礎石の周りをモルタルで固めてください。

補足

- 基礎石をG.L.面より出す場合は、50mm以下にしてください。



ポイント

- 必ず砕石を敷き、突き固めてください。
- この作業が十分でないと、基礎の沈みが発生する場合があります。

2. 束柱・大引の取付け

2-1 束柱の加工

(1) 切断

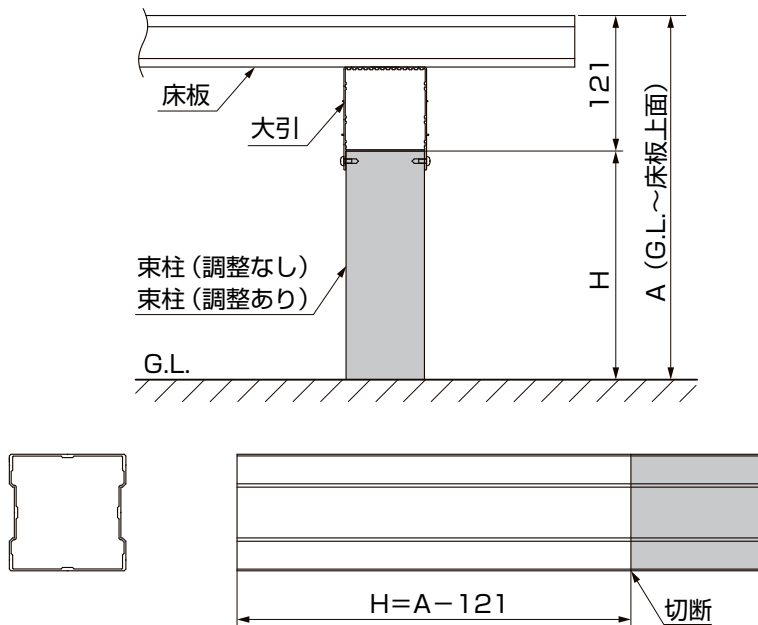


図2-1 束柱（調整なし）

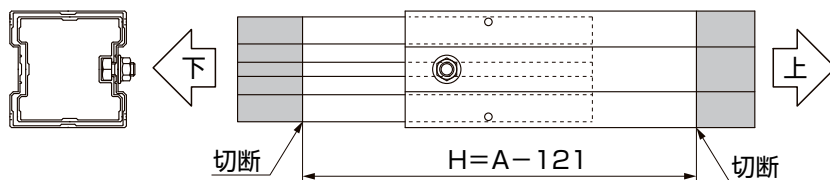
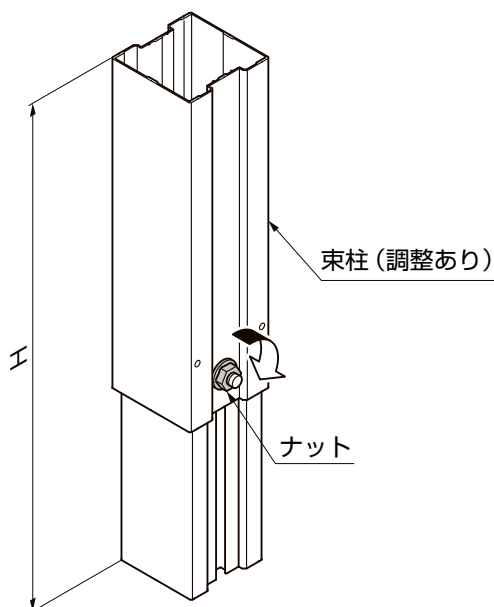


図2-2 束柱（調整あり）

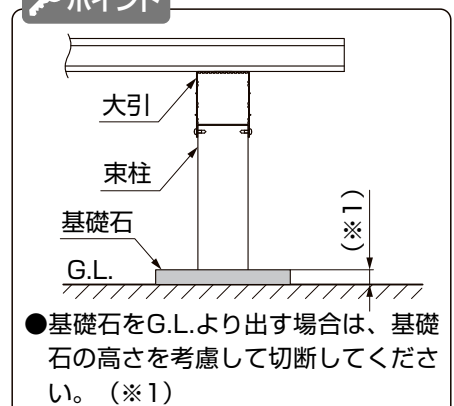
(2) 仮締め ※束柱（調整あり）の場合の作業です。



①A寸法を決定してください。

②左図を参照して、束柱を切断してください。

ポイント



補足

- 束柱（調整あり）の調整寸法は97mmです。
- 束柱（調整あり）の切断は、上側と下側を同寸法で行ってください。
- Aは最大450mm（ロング900mm）、最小170mmです。

①束柱（調整あり）のナットを、H寸法で仮締めしてください。

2. (つづき)

2-2 束柱の取付け

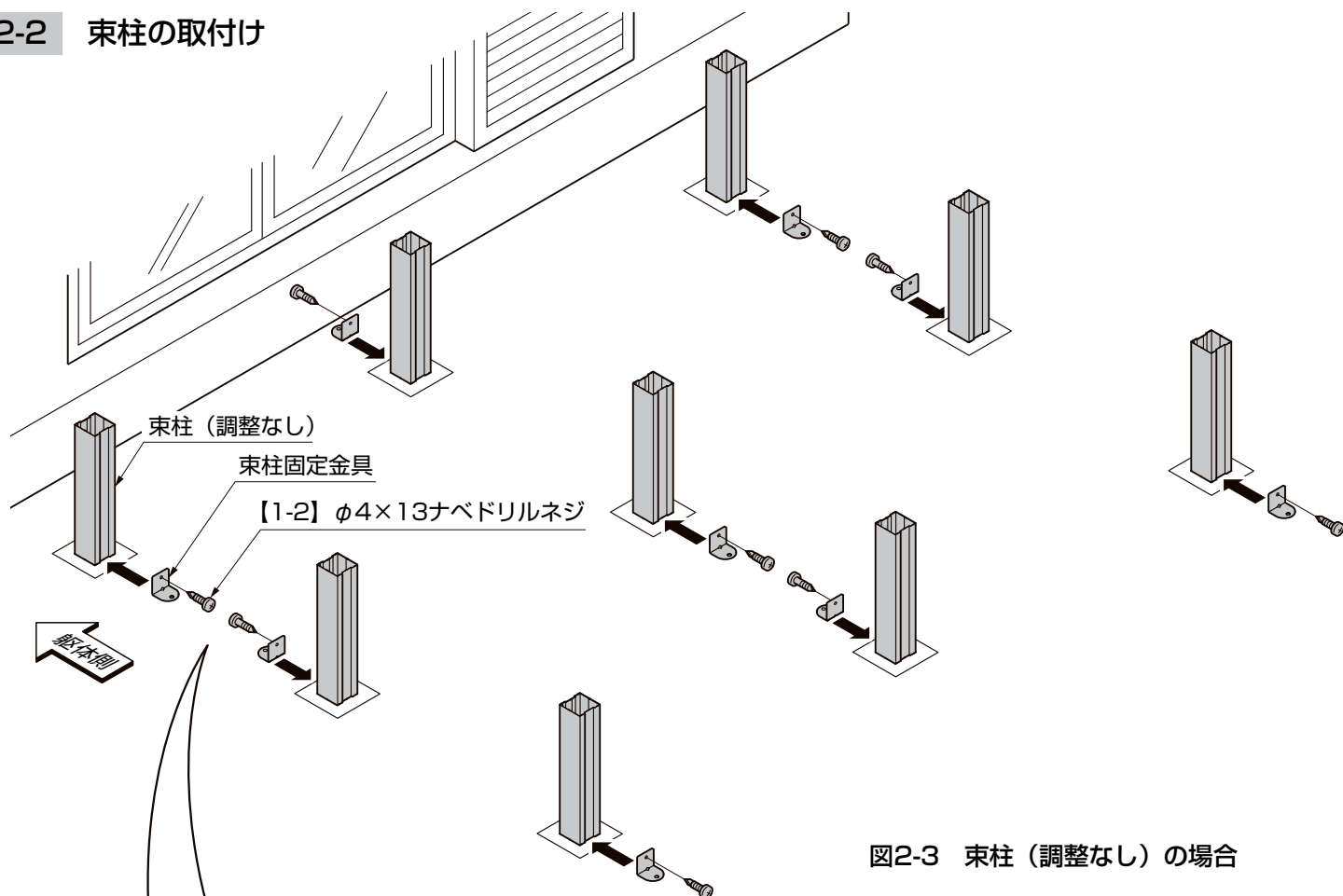
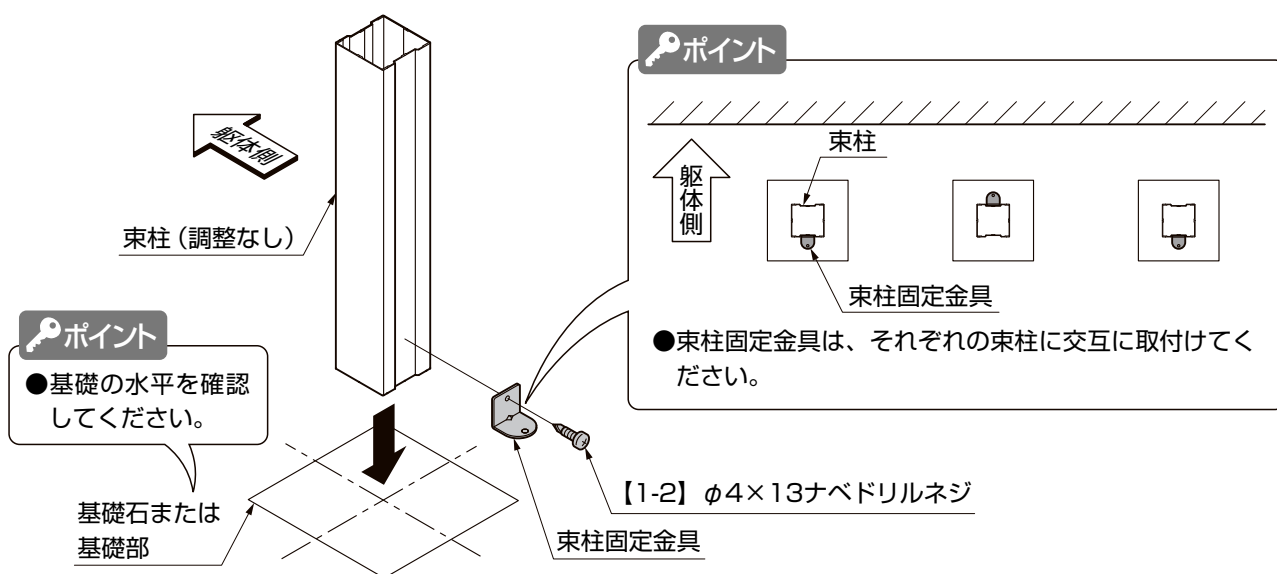


図2-3 束柱（調整なし）の場合

(1) 束柱（調整なし）の場合



- ① 束柱固定金具を束柱に【1-2】で取付けてください。
- ② 「3 基本寸法と各部の名称 3.床板縦張り基本寸法」を参照して、前面・両側面の水系に寸法出しをし、基礎石または基礎部に束柱をのせてください。

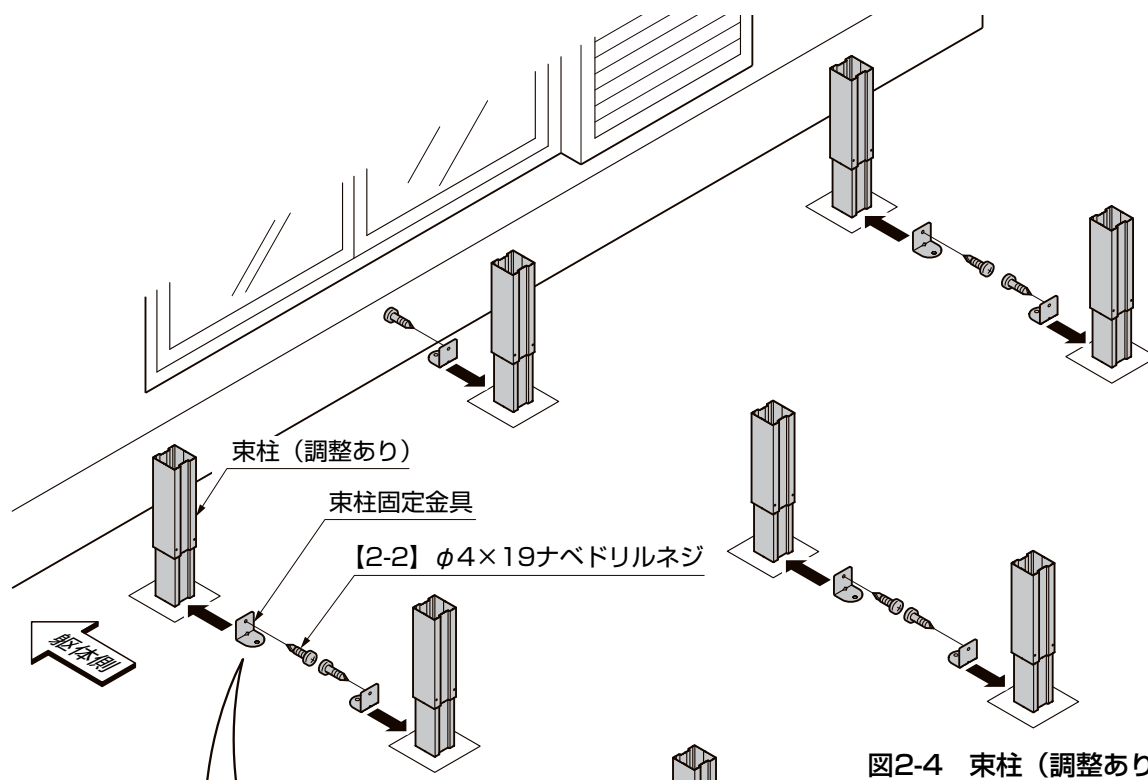
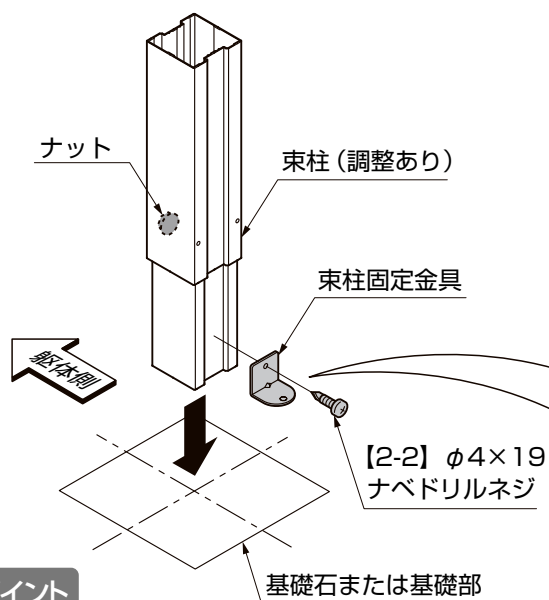


図2-4 束柱（調整あり）の場合

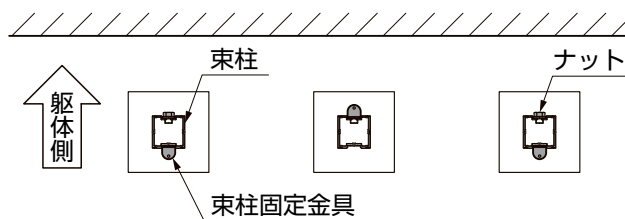
(2) 束柱（調整あり）の場合



ポイント

- 基礎の水平を確認してください。

ポイント



- 束柱固定金具は、それぞれの束柱に交互に取付けてください。

- ①束柱固定金具を束柱に【2-2】で取付けてください。
- ②「3 基本寸法と各部の名称 3.床板縦張り基本寸法」を参照して、前面・両側面の水系に寸法出しをし、基礎石または基礎部に束柱をのせてください。

3. 大引への穴加工

3-1 大引の場合

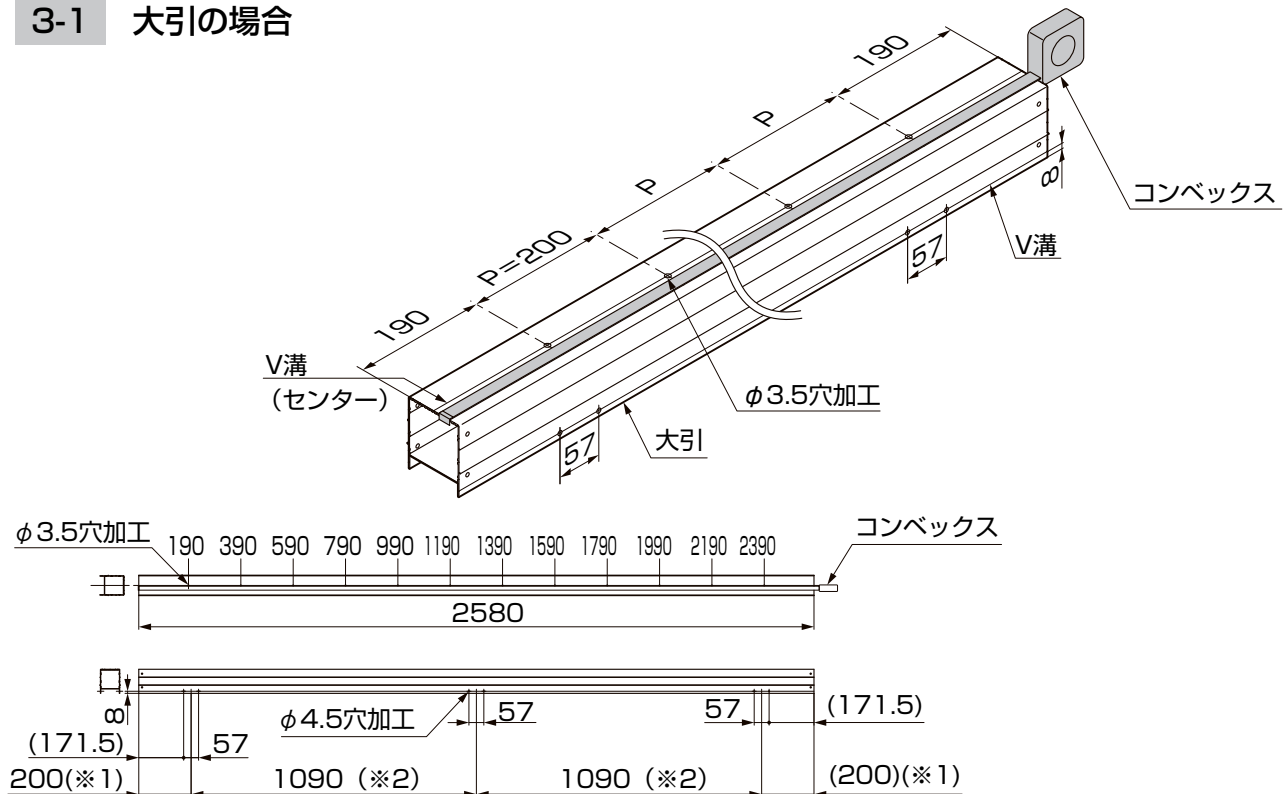


図3-1 1.5間

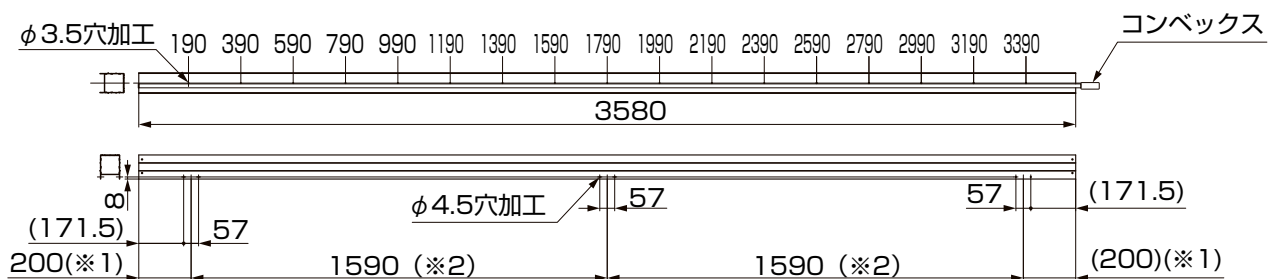


図3-2 2.0間

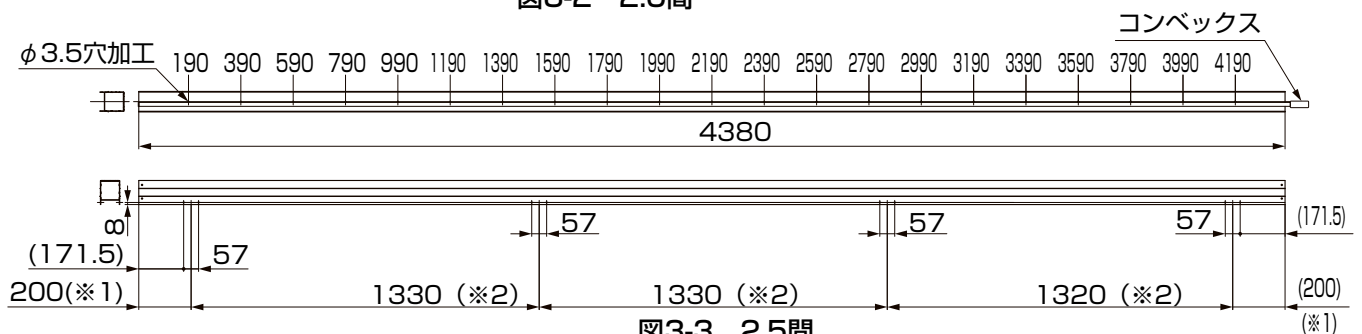


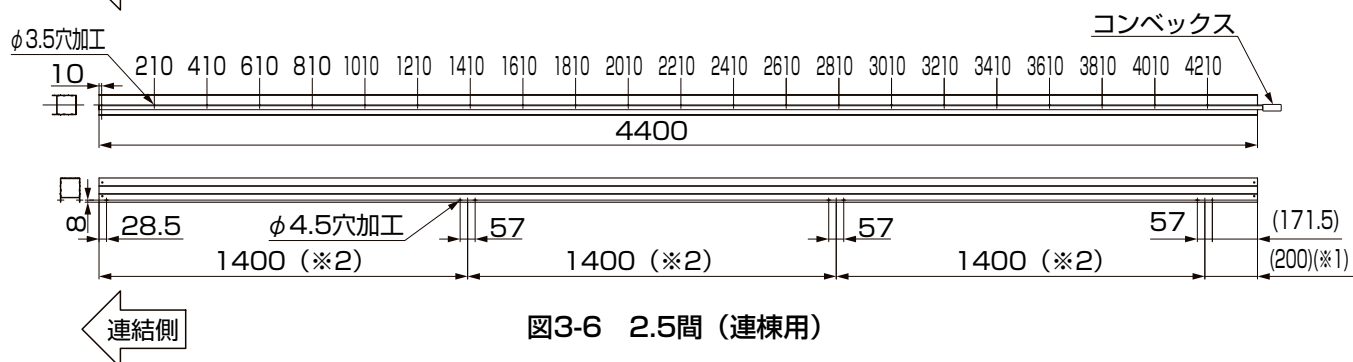
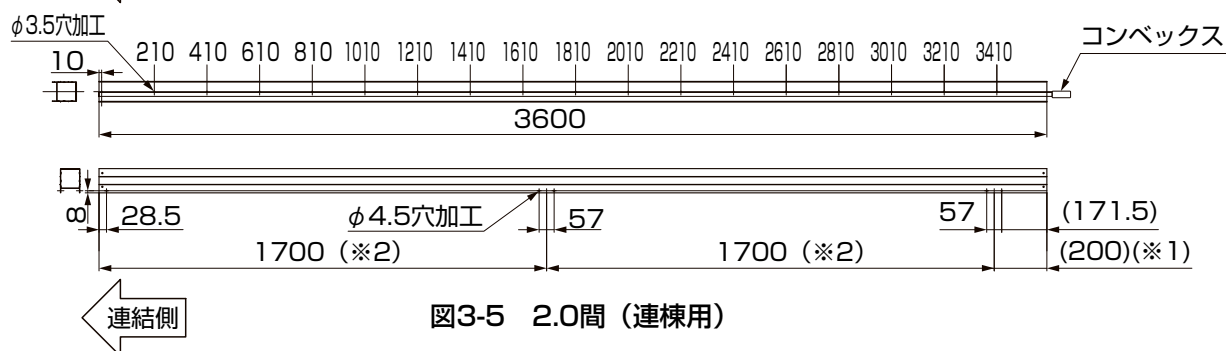
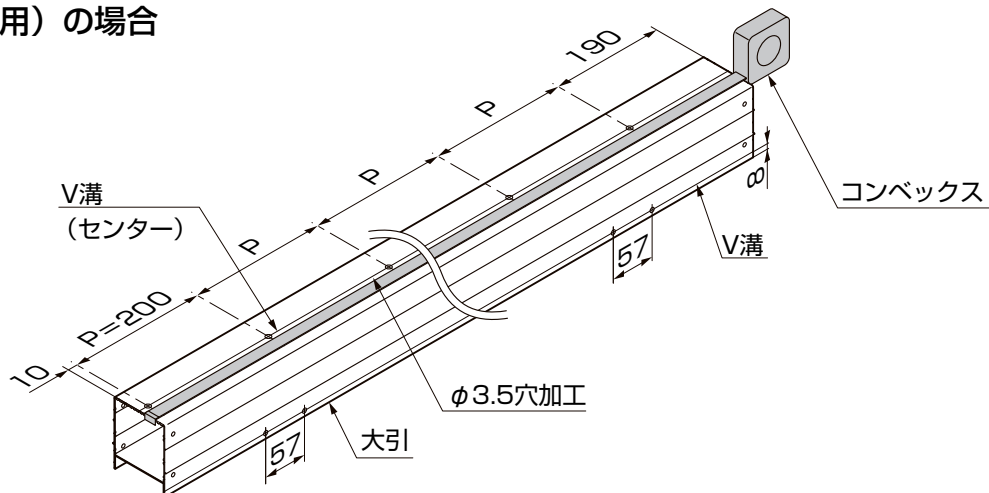
図3-3 2.5間

- ①大引上面にφ3.5の穴加工をしてください。
- ②大引側面にφ4.5の穴加工をしてください。

ポイント

- コンベックスなどを使用し、ピッチがずれないように注意してください。
- 大引を切詰める場合は、端部から束柱芯まで(※1)を200mm以下にしてください。
- 束柱の位置(※2)は現場に合わせて調整してください。

3-2 大引（連棟用）の場合



- ①大引上面にφ3.5の穴加工をしてください。
- ②大引側面にφ4.5の穴加工をしてください。

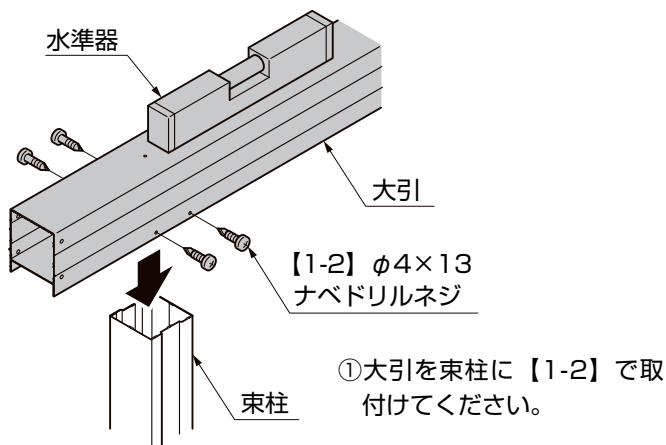
ポイント

- コンベックスなどを使用し、ピッチがずれないように注意してください。
- 大引を切詰める場合は、端部から束柱芯まで（※1）を200mm以下にしてください。
- 束柱の位置（※2）は現場に合わせて調整してください。

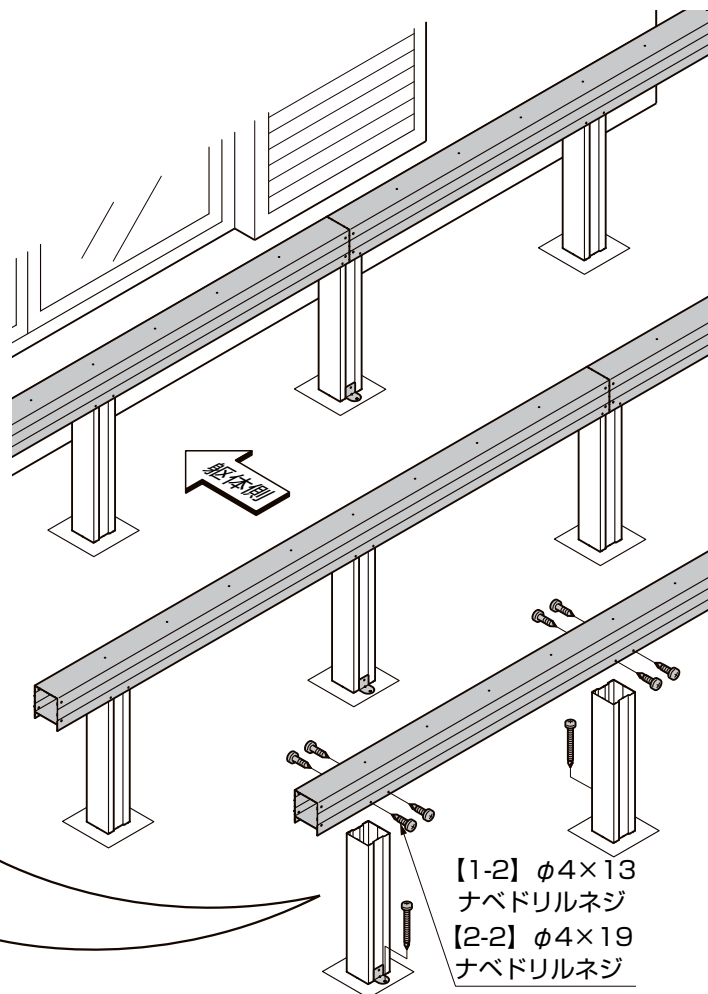
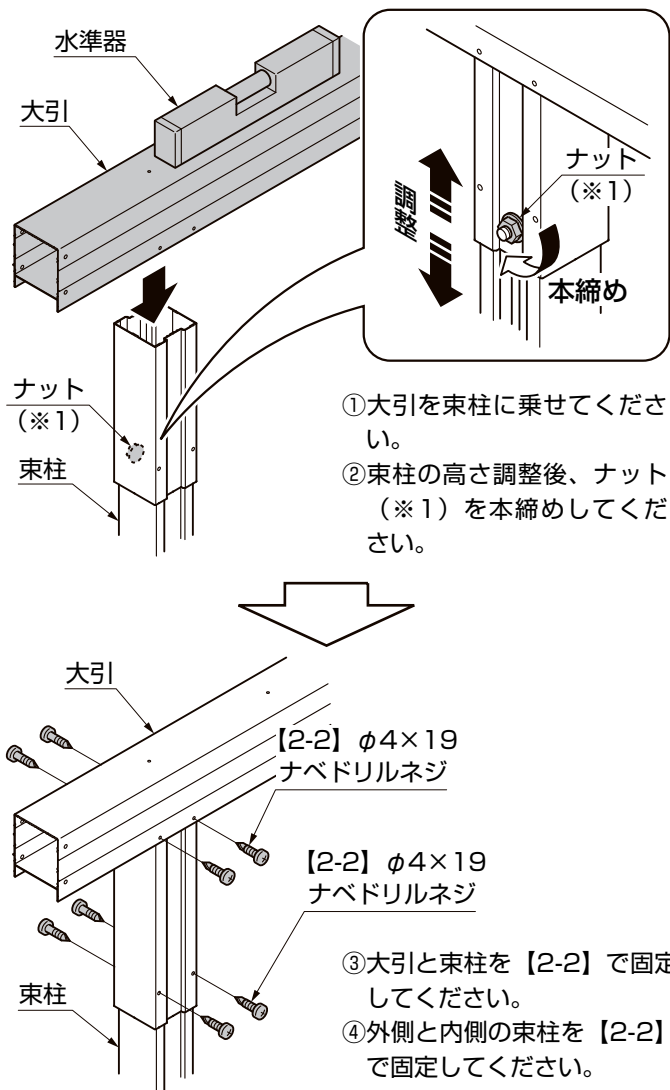
4. 大引の取付け

4-1 大引の取付け

(1) 束柱（調整なし）の場合

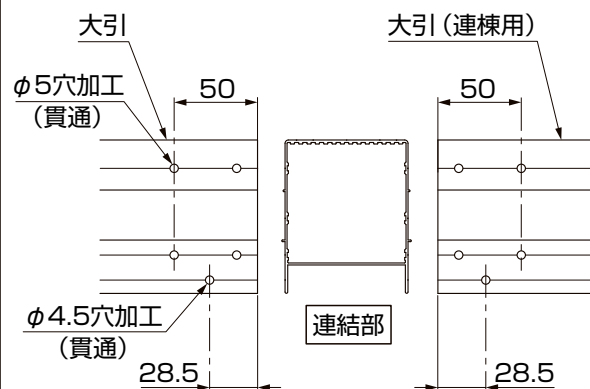


(2) 束柱（調整あり）の場合

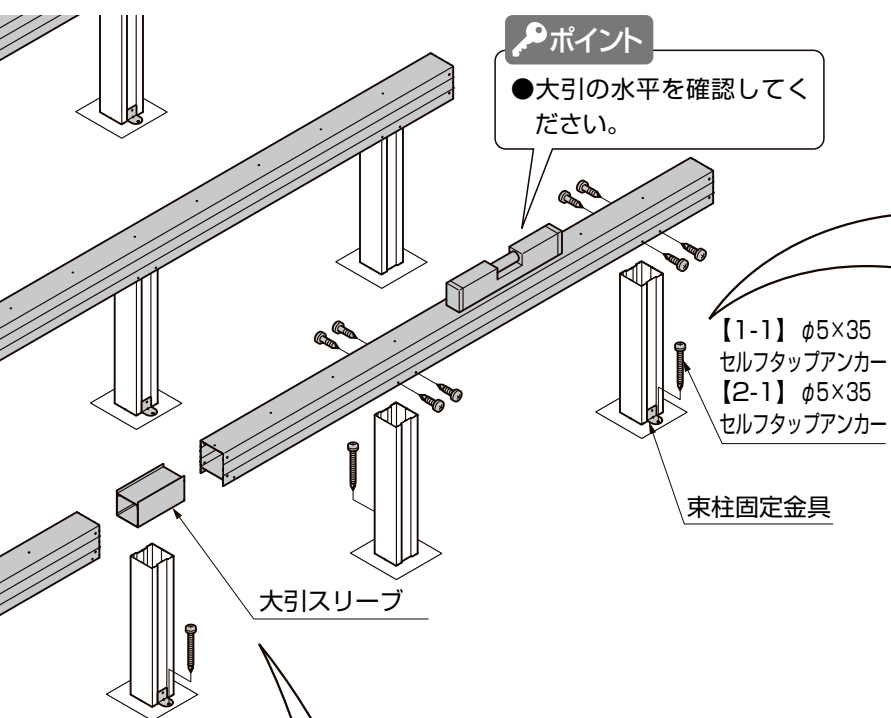


4-2 連結部の取付け

(1) 大引の加工

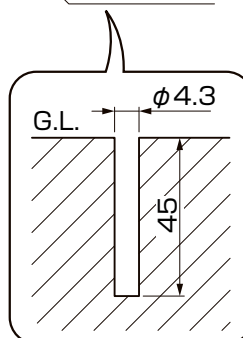
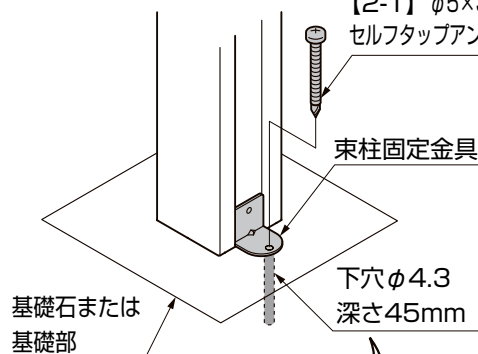


①連棟する大引の連結部に穴加工をしてください。



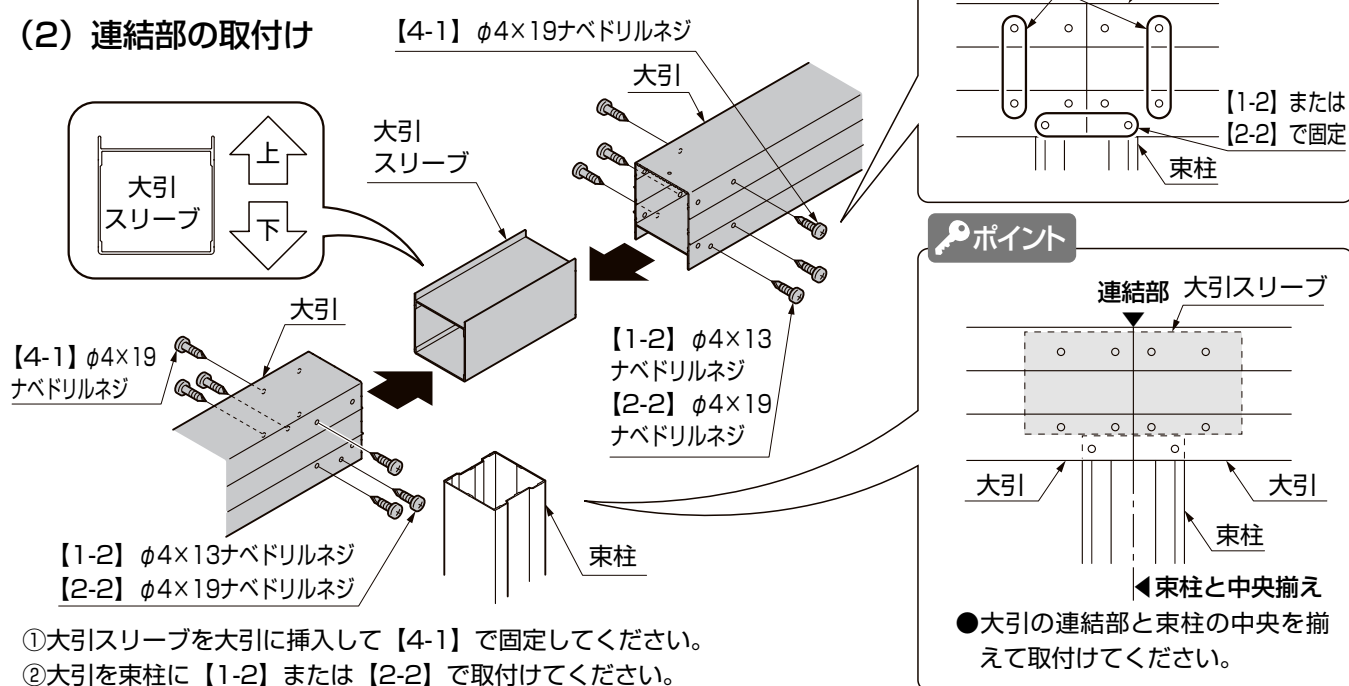
4-3 束柱の固定

【1-1】 $\phi 5 \times 35$ セルフタッパアンカー
【2-1】 $\phi 5 \times 35$ セルフタッパアンカー



- ①基礎石または基礎部に $\phi 4.3$ 、深さ45mmの下穴をあけてください。
- ②束柱固定金具を基礎石または基礎部に【1-1】または【2-1】で固定してください。

(2) 連結部の取付け



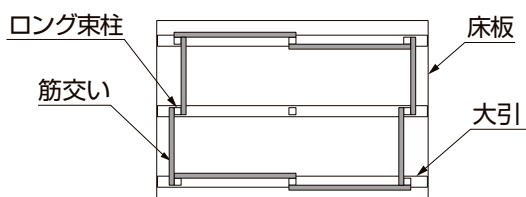
5. 筋交いの取付け ※ロング束柱の場合の作業です。

ポイント

- 筋交いの取付けは、筋交い基本設定基準および「5-1 筋交いの施工例」を参考に施工してください。
- 筋交いは、束柱の内側・外側交互に取付けてください。
- 横張りの場合は、図を横にして読み替えてください。

5-1 筋交いの施工例

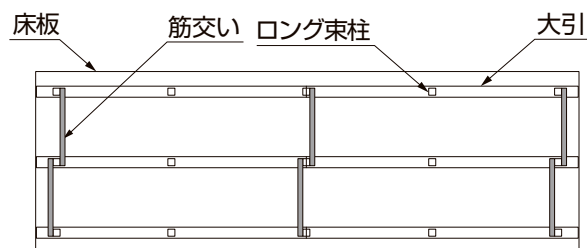
(1) 出幅4000mm未満、 間口4000mm未満の場合



ポイント

- 大引方向は、前面側と躯体側に配置してください。
- 床板方向は、両側面側に配置してください。

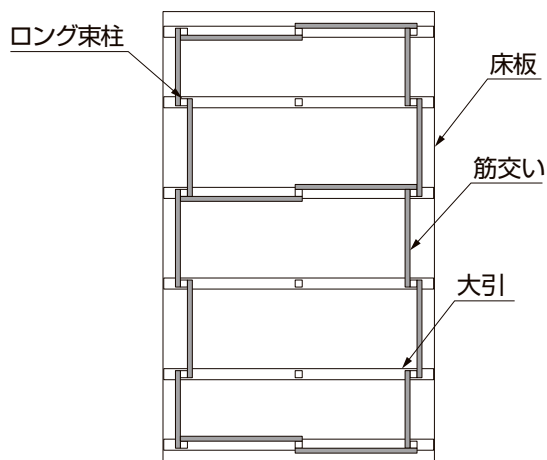
(3) 出幅4000mm未満、 間口4000mm以上の場合



ポイント

- 床板方向は、両側面側と間口4000mmにつき1筋配置してください。

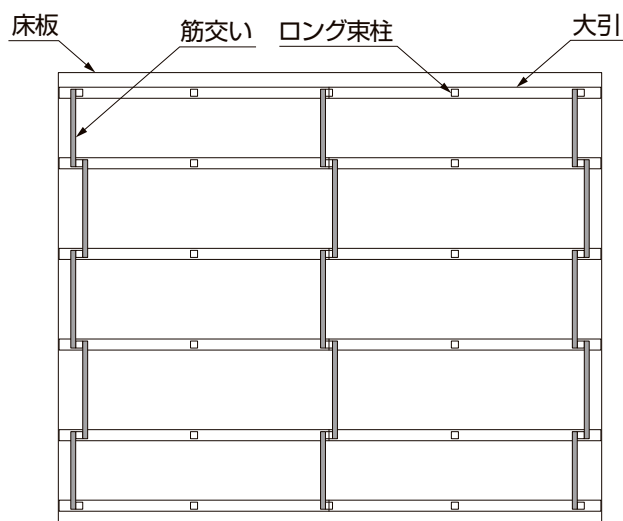
(2) 出幅4000mm以上、 間口4000mm未満の場合



ポイント

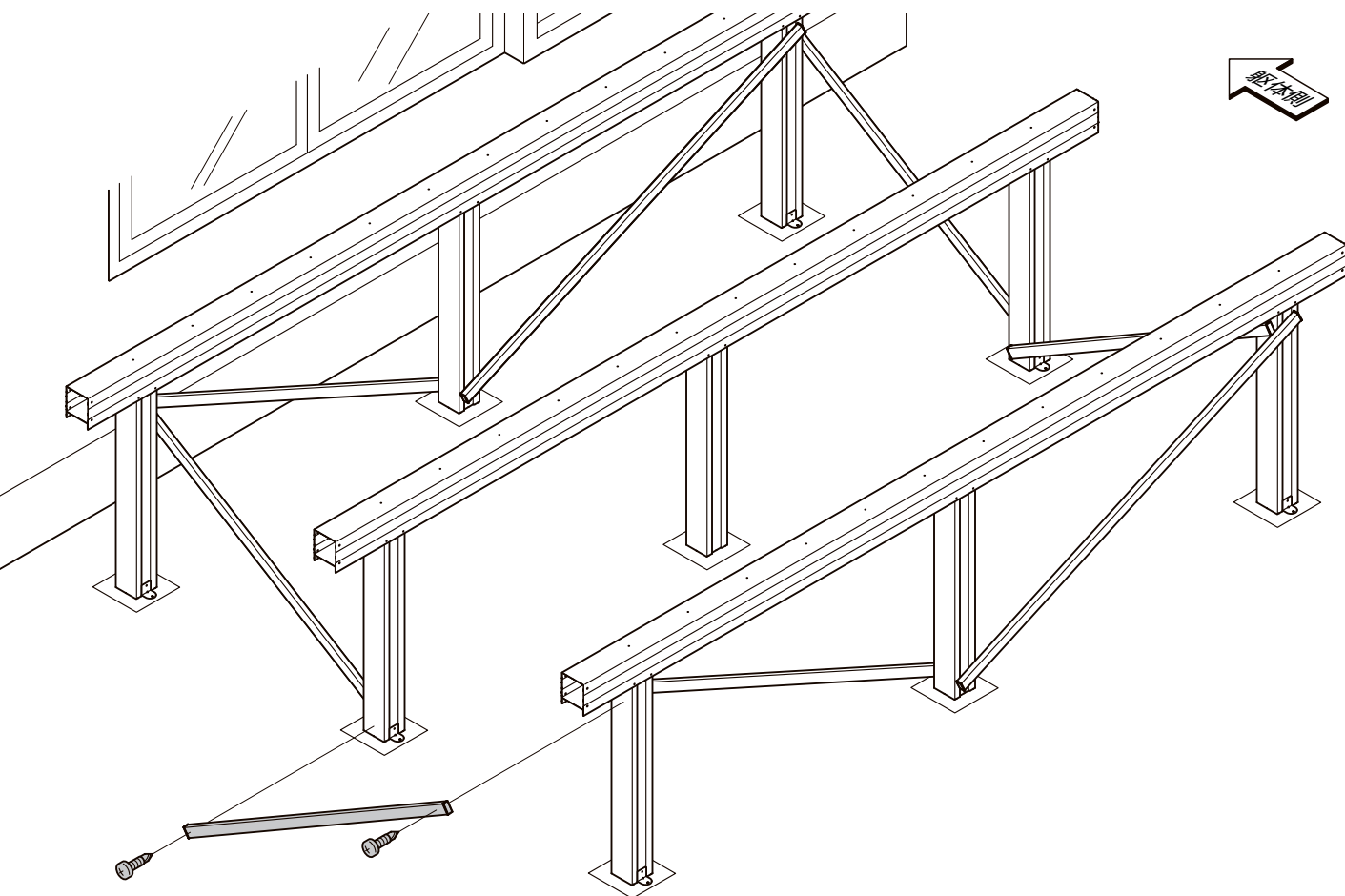
- 大引方向は、前面側、躯体側ならびに出幅4000mmにつき1筋配置してください。
- 床板方向は、両側面側に配置してください。

(4) 出幅4000mm以上、 間口4000mm以上の場合



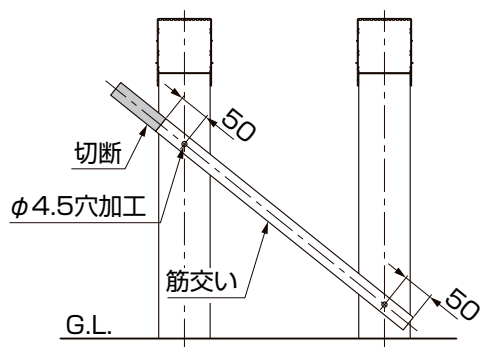
ポイント

- 床板方向は、両側面側と間口4000mmにつき1筋配置してください。



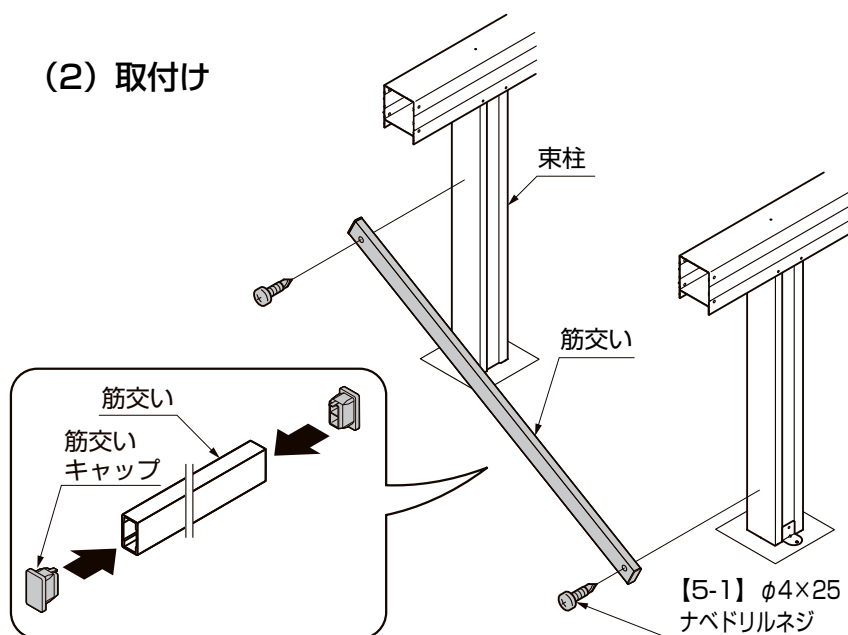
5-2 筋交いの取付け

(1) 加工



①取付位置を確認し、束柱の中心から50mm程度で切断してください。

(2) 取付け



①筋交いの両端に筋交いキャップを取付けてください。
②筋交いを束柱に【5-1】で取付けてください。